

第七十六回帝國議會
衆議院

國民貯蓄組合法案外四件委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和十六年二月十七日(月曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 菊池 良一君

理事伊東 岩男君

阿部 茂夫君

大野 伴睦君

清水徳太郎君

高島龜太郎君

平野 力三君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官

大藏省銀行局長

大藏書記官

大藏書記官

國民貯蓄獎勵局長

商工省振興部長

厚生省職業局長

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

商工書記官 岡田 武彦君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國民貯蓄組合法案(政府提出)

國民更生金庫法案(政府提出)

○菊池委員長 是ヨリ開會致シマス、前會ニ引續キ通告ノ順序ニ依リマシテ發言ヲ許

シマス—伊東君

○伊東委員 私ハ國民更生金庫法案及ビ國民貯蓄法案、及ビ之ニ關聯シマシテ中小工業者ノ問題ニ付テ、總テ理論ヲ拔イテ具體的ノ事實ニ付テ、御伺ヒシタイト思フノデアリマス、商工大臣及ビ大藏、厚生、商工ノ關係局長、部長、或ハ課長カラ、ソレノ御答辯ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、先ヅ商工大臣ガ只今御出席デアリマセヌカラ、此ノ方ハ他ノ機會ニ讓リマシテ、轉業對策ニ付テ御伺ヒ致シマスカラ、關係當局カラ御答ヘ願ヒタイト思ヒマス、政府ノ轉業對策トシテハ、國民職業指導所、國民勤勞訓練所、國民更生金庫、此ノ三ツノ施設ヲ取上ゲテ居ラレマスガ、此ノ事務關係デアリマスカ、大藏、厚生、商工、拓務等ニ、ソレノ關聯ヲ持ツテ居ルヤウデアリマス、一體是等ノ關聯ヲドウ云フ工合ニサレルノデアリマスガ、殊ニ國民更生金庫ノ仕事ハ、大部分商工省ニ關聯ガアルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、是ハ商工、大藏ノ共管デアルカ、或ハ大藏ダケノ專管デアリマスカ、金ヲ貸ストカ、或ハ財産處理關係等ニ付テハ、無論大藏省デアリマスカ、之ニ依ツテ起ル特色ナ關係ハ、總テ商工省若クハ厚生省ノ仕事ノヤウニ思フノデアリマスカ、是等ノ關係ニ付テ御答ヘテ願ヒタイト思ヒマス

○坂口政府委員

只今御尋ネニナリマシタ更生金庫ノ所管ノ問題デゴザイマスガ、更生金庫ノ所管ハ、大藏大臣ノ專管ニナツテ居リマス、併シ只今御質問ニナリマシタ通り、此ノ仕事ハ商工省其ノ他ノ省ニモ、相當深イ關係ガアリマスコト、其ノ間ニ十分ナル連絡ヲ取ツテヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス、尙ホ大藏省專管ニ致シマシタハ、事務ヲ敏活ニ處理スル意味ニ於キマシテ、多數ノ官廳ノ共管ニナリマスコトヲ避ケテ、特ニ事務ヲ早く致シマスカ爲ニ、大藏省ノ專管ニ致シタ譯デゴザイマスガ、今モ申シマシタヤウニ、他ノ各省トハ十分ナル連絡ヲ取ツテ、此ノ事務ヲ處理シテ行キタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○伊東委員 是ハ本體カラ言ヒマス、當然商工省ト共管ニスベキモノダト思ヒマスケレドモ、只今ノ御答辯ニモアルヤウニ、是非此ノ問題ニ付テハ、能ク連絡ヲ取ツテ戴カナレバ、色々ナル支障ガ今後更生金庫ノ事務處理ノ上ニ關係シテ來ルト思ヒマスノデ、特ニ此ノ點ヲ希望申上ゲテ置ク次第デアリマス

次ニ轉業對策問題トシテ、失業者ノ數ノ如キニ付テ、資料ヲ要求致シテ居リマスケレドモ、今日マデ御提出ニナツテ居リマセヌ、尙ホ一昨日ノ振興部長ノ御答辯ニ依リマス、失業者ノ數ノ如キガ、ハツキリシテ居ナイ、殊ニ最近ノ調査ハ的確ノ數字ナシト云フヤウナ御答辯デアリマシタ、一體失業者ト云フ對象ナクシテ、而モ確實ナル基本ナクシテ、轉業對策ナドト云フコトハ、出來ルモノデナイト思フノデアリマス、先ヅ其ノ確實ナ數字ノ統計ヲ得ラレルコトガ、必要ダト思ヒマス、失業者ノ如キハ調査シタ人ニ依ツテ、色々差異ガアルノデアリマス、現在失業シテ居ル者ノ數ハ、當局ハ非常ニ少ク見テ居ラレルヤウデ厚生省或ハ企畫院ノ調査、其ノ他學者等ノ調査ハ、ソレノ違ツテ居リマス、殊ニ將來失業ノ虞アル者ノ如キ、是ハ豫想デアリマスカレドモ、此ノ問題ヲ頭ノ中ニ入レテ對策ヲ講ズルニアラザレバ、到底其ノ目的ハ達シ得ナイト考ヘルノデアリマス、只今デハ工業者ノ方ハ、大體宜イヤウデアリマスカレドモ、中小商業者ノ如キハ、商賣ヲシテ居ルカ居ラヌカ、失業シテ居ルカ居ラヌカト云フヤウナ程度ノ者ガ、多ク見積レバ二分ノ一、少ク見積ツテモ三分ノ一ハ、全業者ノ中ニアルノデアリマス、ダカラ是等ヲ對象ニシテ御考ヘ願ハナケレバナラス、失業者ノ數ニ付テハ、書面デ御報告ヲ願ヒマス

尙ホ併セテ日本ニ於ケル工業者、商業者ノ業種別ノ最近ノ統計ヲ、御示シ願ヒタイ

付託議案

國民貯蓄組合法案(政府提出)(第六六號)
國民更生金庫法案(政府提出)(第六七號)
日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)(第六八號)
北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)(第六九號)
農工銀行法中改正法律案(政府提出)(第七〇號)

ト思ヒマス、尙ホモウ一ツ伺ヒタイコトハ
労働者ノ需給關係デアリマスガ、失業者ガ
一方ニアル反面ニ労働力ガ不足シテ居ル、
労働者ガ足りナイ、是ハ洵ニオカシイ現象
デアリマスガ事實デアリマス、然ラバ此ノ
労働者ノ不足ガ、ドノ方面ニ多イノデア
ツテ、而モ業種別ニドウ云フ労働者ノ需要ガ
アルノデアルカ、御答辯出來ルナラバ、御答
辯ヲ願ヒタイノデアリマスガ、併シ數字ノ
コトデアリマスカラ、詳シク資料トシテ書
面デ御提出願ツテモ宜シイノデアリマス、
此ノ點ニ付テハ御答辯ヲ願ヒマス

○堀政府委員 第一點トシテ御尋ネノ、既
ニ生ジテ居リマスル轉失業者ノ數ト云フモ
ノハ、先日私ガ御答辯申上ゲマシタ時、最
近ノ數字ガマダ不明ノヤウニ申上ゲマシ
タガ、實ハ一昨日其ノ後ニ調べマシタ所、厚
生省ノ方デ私ガ調べテ居リマシタヨリモ、
モウ少し最近ノ數字ヲ御持チニナツテ居
ルヤウニ伺ヒマシタノデ、其ノ方ト今連絡
致シマシテ、書面ヲ以テ御返事スル手配ヲ整
ヘテ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、
將來ノ轉失業者ノ見込數ガ分ラナイデハ困
ルデハナイカト云フ御尋ネハ、洵ニ御尤モ
デゴザイマスガ、實ハ是ハ甚ダ見込ガ立テ
クイノデゴザイマス、例ヘバ「ゴム」ナラ
「ゴム」ト云フモノガ、資材トシテ配給量ガ假
ニ半分ニナルト云フ前提ヲ取リマシタ場合
ニ、其ノ半分ノ五割ト云フ比率ヲ以テ工業
者ガ減少シ、或ハ又「ゴム」ニ關係シテ居
ル商業者ガ減ルト云フヤウナ計算ハ、一應
ハ是ハ立テ得ルノデゴザイマスガ、ソレガ
失業者ノ見込數トハ、實ハ考ヘ得ラナイ
ノデアリマス、默ツテ置ケバ失業者スベ
キ者モ、何等カノ措置ヲ講ジテ失業サセ
ナイヤウニ

スルト云フノガ、現在ノ商工省ノ方針
デゴザイマス爲ニ、只今申上ゲマシタ
ヤウニ、或ル物資ノ比率カラ見て、失
業者數ヲ斷ズルト云フコトモ如何カト
考ヘマシテ、其ノヤウナ關係カラ、的
確ニ失業者見込數ヲ計算シ得ナイト云
フ狀況ニナツテ居ルノデゴザイマス
ソレカラ工業者、商業者ノ業種別統計
ト仰シヤイマシタガ、ソレハ現在數
デゴザイマス

○伊東委員 現在數デ宜シウゴザイ
マス
○堀政府委員 ソレハ分ルダケ後程御
答ヘ申上ゲマス、ソレダケ御答ヘ申上
ゲマス
○伊東委員 労働者需給關係ノ御答
辯ガ出來ナケレバ、後、書面デ御答
ヘ願ツテモ宜シイノデアリマスガ、如
何デアリマスカ
○内藤政府委員 御承知ノヤウニ現
在ノ一方ニ於テ、失業者ガ相當數出
テ居ルニ拘リマセズ、勞務全體カラ
言ヒマス、マダ不足數ト云フモノガ
相當アルノデアリマス、就中現在最
モ需要ヲ要シテ居リマスノハ軍需工
業、更ニ生産力擴充、此ノ中ニハ鑛
山關係モ含ミマスガ、是等ノ方ガ旺
盛ナル需要ヲ持ツテ居リマス、隨テ
相當大キナ失業者數ヲ見込ミマシ
テモ、數ノ上ニ於キマシテハ、十分
コナシ得ルト云フヤウナコトガ、一
應考ヘラレマス、唯御承知ノヤウ
ニ、一口ニ質ト申シマス、餘リ好イ
表現デハアリマセヌガ、假ニ質ト云
フ問題カラ言ヒマス、一方必要ナル
場合ト、サウシテ出ル者トガ、必
ズシモ巧ク合致シナイト云フ所
ニ惱ミガアル、此ノ點ニ付キマシ
テハ、結局轉業ヲ餘儀ナクサレル
部門ニ於キマシテ、同じ數ヲ出ス
ニ致シマシテモ、轉業ノ容易ナル
連中ヲ組合ノ自治ニ依リマシテ、

ヒノ責任ニ於キマシテ、其ノ方ニ
成ベク轉業サシテ、轉業ノ困難ナ
者ヲ後廻シニスルト云フコト及ビ
現在講ジツツアリマス訓練所、補
導所ト云フガ如キ施設ハ、専ラ之
ヲ質ノ方面ニ重キヲ置イテ補ヒ
テ付ケマシテ、成ベク需要ニ合ハ
スヤウニスルト云フ施設ヲシテ居
リマス、彼此レ相俟チマシテ、此
ノ轉業者ノ大半ハ必要ニ應ジ吸
收ガ出來ル、斯様ニ考ヘテ居リ
マス

○伊東委員 最近工業基地ト云
フモノヲ全國各所ニ拵ヘル、所謂國
防上ノ見地カラ言ヒマシテモ、重
要工業ガ分散スルコトハ非常ニ大
切ナコトデアリマスルガ、尙又一
面勞務配分ノ點カラ言ヒマシテモ、
非常ニ必要ナコトダト思フノデア
リマス、——此ノ調査及ビ將來ノ
フノデアリマスルガ、此ノ調査及
ビ將來ノ是等ニ關スル御方針ニ付
テ、或ハ發表ノ出來ナイ點ガアル
カモ知レマセヌケレドモ、發表ノ
出來得ラレル範圍デ、御示シ願ヒ
タイト思フノデアリマス

○堀政府委員 工業基地ノ問題ハ、
只今御示シノ通り各方面カラ考ヘ
マシテ、例ヘバ勞務ノ關係、動力
ノ關係、或ハ國防上ノ關係等カラ
致シマシテ、一箇所ニ集中シテ置
クコトハ、色々ナ危險ヲ伴ヒマス
ノデ、之ヲ適當ニ分散サセル必要
ガアルト云フ意味合ニ於キマシ
テ、地方工業化委員會ト云フモノ
ヲ商工省ニ設ケマシテ、關係各省
ノ主ナル者ガ集マリマシテ、諸般
ノ研究ヲ致シテ居リマシタコトハ
御承知ノ通りト思ヒマス、其ノ
研究ノ結果ト致シマシテ、大體昨
年十二月ニ、工業ノ再分布實施計
畫ト云フモノヲ設ケマシテ、大體一
定地域ニ新シイ工場ノ新設、或ハ
増設ヲ制限スル、又特定

ノ地域ニ對シテハ、成ベク其處ニ
工場ヲ持ツテ行クヤウニ、指導勸
奨スルト云フ趣旨ノ決議ヲ致シ
タノデゴザイマス、是ハ現在ノ法
制ニ於キマシテハ、制限ノ方ハ出
來マスケレドモ、新シク造ル場合
ニ、無理ニ新シイ土地ニ、本人ノ
希望シナイ場所ニ持ツテ行カセ
ルト云フ所マデハ、マダ現行ノ法
制デハ出來マセヌガ、現在アリ
マス法令ヲ利用シ得ル限度ニ利
用シテ業者ニ勸奨シテ行ク、尙
ホ今後ハ適當ナル法制モ出來ル
コトト考ヘマスガ、斯様ナ方法
ニ依リマシテ適當ナ工業基地
ニ工業ヲ興スコトニシタイト云
フ意味デ、決議ガ出來タノデ
ゴザイマス、其ノ内容ニ付キマ
シテハ、只今茲ニ申上ゲル自由
ヲ持チマセヌノデ、又適當ナ時
ニ申上ゲルコトニシタイト思ヒ
マスガ、趣旨ハ斯様ナ趣旨デ
ゴザイマス、サウシテ今度出來
マス大キナ國土計畫ト云フモノ
ノ一部分ニ、之ヲ組入レマシ
テ、今後其ノ實現ニ向ツテ努力
スルト云フコトニ相成ツテ居
リマス

○伊東委員 最近特ニ關心ヲ
持ツテ居リマスコトハ、日米若
シ戰ハバト云フ問題デアリ
マスガ、英米依存ヲ致シテ居
リマス日本ノ經濟ニ、左様ナ場
合ニハ非常ナル一大異變ガ起
ルト考ヘルノデアリマスガ、其
ノ場合ニハ夥シイ失業者ガ出
ルコトヲ豫想シナケレバナ
リマセヌ、特ニ之ニ對シテハ
既ニ御用意モアルコトト思フ
ノデアリマスガ、是等ノ對策
ニ付テドウ云フ御考ヘデア
リマスガ、更ニ日本ノ中小商
工業者ガ行詰ツテ居ルト云
フ色々ナ原因ノ中デ、第一ハ
商人ノ數ノ多イト云フコトト、
今一ツハ人爲ノ統制ガ加ハ
ツタト云フコトデアリマス、
ソコニ更ニ突發的ナ日米戰
争ミタヤウナモノガ起ツ

タ場合ニハ、一層困ルドラウト思フノデア
リマス、或ハ企業合同等ニ因ル失業、或
ハ一般的失業等ノ轉業對策トシテノ轉業
順位及ビ其ノ轉業先等ヲ、ドウ云フ工合ニ
御考ヘニナツテ居ルノデアリマスカ、其ノ
點ヲ御伺ヒ致シマス

○堀政府委員 日米開戦ノ場合ニ如何ナル
措置ヲ執ルカト云フ御質問デゴザイマシタ
ガ、是ハ實ハソコマデ、マダ商工業者ノ轉
業問題トシテ考ヘテ居リマセス、ト云フノ
ハ實ハ斯様ナ場合ニ於キマシテハ、各産業
ガ總テ平常ノ情勢カラ變ツテ参リマスルノ
デ、其ノ際ニ適當ニ措置ヲ講ズルシカナ
イト考ヘマスノデ、只今カラ具體的ニ斯様ナ
場合ノ失業等ヲ出ス先、又他ノ方面ニ轉業
サセルト云フヤウナ計畫ハ、マダ出來テ居
リマセス

○伊東委員 轉業順位トカ、轉業先ト云フ
ヤウナコトモ、是ハ厚生省ノ方デハ相當御
考ヘニナツテ居ルコトト思フノデアリマス
ガ、併シ政府ノ失業對策ト致シマシテ能ク
耳ニスルコトハ、例ヘバ失業スレバ滿洲ニ
行ケト云フヤウナコトヲヨク言ハレノデア
リマス、無論滿洲ノ拓殖民ハ主トシテ百
姓デアリマス、ソコデ吳服屋、食料品屋ガ
滿洲方面ニ行ツテ百姓ヲスルト云フコトハ、
果シテ出來ルドラウカ、滿洲拓殖民送出計
畫ト云フモノハ、主トシテ農民輸出デア
ルヤウニ考ヘルノデアリマス、所デ中小工業
者ノ滿洲送出計畫ガ、現在厚生省或ハ商工
省ノ方デアアルノデアリマスルカドウカ、モ
ウ一ツハ支那、南洋方面ノ移民進出ハ、東
亞共榮圈確立ノ上ニ、非常ニ必要デアリマ
ス、是ガ送出計畫ハドウ云フ工合ニナツテ
居ルノデアリマスカ、又斯様ナ場合ニ於テ

ノ資金ノ貸付、或ハ旅費等ノ補助ノ施設ガ
アルノデアリマスカ、或ハ商業移民ニ對ス
ル訓練施設ヲ、ドウ云フ工合ニ御考ヘニナ
ツテ居ルノデアリマスカ、是ハ假リニアリ
マシテモ、南洋或ハ支那ニ商工業者トシテ
活動シヨウト致シマシテモ、只今ノ所デハ
輸出制限令ガアル爲ニ、實績以外ノ活動ハ
出來得ナイト私ハ考ヘマス、尙又爲替管理
法ノ爲ニ、資金ノ持出シト云フコトモ制限
サレテ、仕事ハ許可制デアリマスカラ、新
シイ商業人ノ活動ハ、望ンデモ實際出來得
ナイ、南洋ニ行キタイ、支那ニ行キタイト
云フ商工業者ハ相當居ルノデアリマスケレ
ドモ、斯ウ云ツタヤウナ關係デアリマスノ
デ、是等ヲ如何ニ御考ヘニナツテ居ルノデ
アリマスカ、御伺ヒシマス

○堀政府委員 御答ヘ申シマス、轉業者ガ
出來タ場合ニ、滿洲ニ行ケト役所デ直グ言
フト云フコトハ、能ク私共モ聞イテ居リマ
スガ、決シテ斯様ニ無條件ニ滿洲ニ行クコ
トヲ強要シテ居ル譯デハナイノデゴザイマ
ス、只今ノ所ト致シマシテハ、商業者ニ付
キマシテハ、商業者トシテ滿洲國ニ移スト
云フコトハ現在ハ考ヘテ居リマセス、工業
者ノ方モ、或ル特定ノ——是カラ申上ゲマ
ス場合ニ限リマシテ、工業者トシテ滿洲國
ニ移スト云フデケデゴザイマシテ、唯漫然
ト滿洲國ニ工業主トシテ移ツテ行クト云フ
コトハ、是ハ假リニ獎メテ見テモ、實行不
可能デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、
其ノ工業主トシテ向フニ参リマスノハ、是
ハ滿洲國ニ於キマスル産業五箇年計畫、及
ビ北邊振興計畫ニ關聯致シマシテ、滿洲國
ニ於テ不足シテ居リマスヤウナ中小工業
者ニ付キマシテ、内地ノ中小工業者ノ更生

振興策トシテ、適當ナモノヲ一部分滿洲國ニ
移駐サセルコトガ適當ト考ヘマシテ、一昨
年以來中小工業ヲ滿洲ニ移駐サセル方策ヲ
執ツテ居ルノデアリマス、即チ滿洲國ニ於
ケル根本産業ニ對シマシテ、從屬的ノ關係
ニアリマスル中小ノ機械器具工業デアリマ
ストカ、或ハ修理工場、或ハ生活必需品關
係ノ工場デアリマシテ、滿洲國ニ於テ不足
シテ居リ、而モ原材料ガ現地デ供給ガ可能
デアルト云フヤウナ條件ノ下ニ、適當ナル
工業ヲ選定致シマシテ、ソレヲ滿洲國ノ方
ニ移駐サシテ居リマス、是ハ現實ニ移駐サ
セマシタモノハ、マダ極ク數ハ僅カデゴザ
イマス、段々是カラ其ノ計畫ヲ進メテ參ル
考ヘニナツテ居リマス、以上ノ業主トシテ
ノ移駐ノ問題デゴザイマスガ、勞務者トシ
テ滿洲國ニ移ラセルト云フ問題ハ、是ハ中
御話ノ通り、是マデ商賣シテ居ツタ人ガ、
急ニ勞務ニ服スルト云フコトニ付キマシテ
ハ、色々困難ナ點モゴザイマスノデ、是ハ
ヤハリ今度出來マスル國民勤勞訓練所アタ
リノ訓練ノ結果ヲ俟チマシテ、適當ト認メ
ラルル者ダケヲ、滿洲國ニ移スト云フコト
ニナルデアラウト考ヘテ居リマス、ソレカ
ラ南洋方面ニ對スル問題デゴザイマスルガ、
是モ現在ト致シマシテハ、商業者トシテ向
フニ移ルト云フコトハ、中々困難デアラウ
ト考ヘマス、御説ノ通り貿易業者ガ、貿易
網ヲ擴張ゲルト云フ意味ニ於キマシテ、南洋
方面ニ支店、出張所ヲ作ルト云フ希望ノア
ル場合ニ、適當ト認メラルルモノニ政府ガ
補助ヲ致シマシテ、從來トモ貿易網ヲ擴充
ト云フコトハ考ヘテ居リマシタケレドモ、
斯様ナ支店、出張所關係ノナイ商業者ガ、新
シク向フニ行ツテ商業ヲ始メルト云フコト

ハ、現在ノ如キ國際情勢ノ下ニ於キマシテ
ハ、マダ困難ガ多イト考ヘマス、之ニ對ス
ル移駐計畫ト云フモノモ、具體的ニハマダ
決定シテ居ラナイヤウナ狀況デゴザイマス
○伊東委員 御話ノヤウニ、業者ガ商賣ヲス
ル爲ニ、支那或ハ南洋ニ行キタイト云フ希
望ハ、相當アルト思フノデアリマスカラ、
武力ヲ以テ南進政策ニ當ルコトモ勿論デア
リマスケレドモ、經濟人ガ先ヅ第一線ニ起
ツコトモ非常ニ必要ナコトデ、是非此ノ送
出計畫ニ付テハ、適切ナル施設ヲサレルコ
トヲ望ンデ置ク次第デアリマス

次ニ是ハ厚生省關係ダト思ツテ居リマス
ガ、國民職業指導所ノ問題デアリマス、是ハ失
業者、轉業者ノ轉業相手ニナル所ダト思フノデ
アリマスガ、是ハ從來職業紹介所ガヤツテ
來タノデアリマスノデ、將來職業紹介所ト合
併スルノダト思フノデアリマスガ、此ノ點
ハドウデアリマスルカ、尙ホ又商工相談所
ガ各地ニ在ルノデアリマス、是モ合併シテ
宜カリサウニ思ヒマスガ、以上ノモノガ合
併スルヤウナ場合ニ於ケル職員等ハ、其ノ
儘吸收スルノデアリマスカ、尙ホ職業轉換
ト云フヤウナ指導ハ中々複雑デ且ツ困難ナ
事業デアリマス、今日マデ職業紹介所デモ、
所長ガ老巧デ手腕ガアツテ、サウシテ親切
ナル所員ガ居ツタト云フヤウナ場合ニハ、
巧ク行ツテ居リマス、併シ行ツテ居ナイ所
モ相當アルノデアリマス、殊ニ其ノ多クガ
御役目的デ、單ニ勞務ノ要求ガアレバ、頭
數ヲ揃ヘバ能事足レリト云フ嫌ヒガアルノ
デアリマス、ソコデ今度ノ指導所ハ是等ノ
缺點ヲ、ドウシテモ補ツテ戴カナケレバナ
ラナイト考ヘテ居リマス、隨テ指導員ニハ
其ノ人ヲ得ナクテハナデナイト思フノデア

リマス、是等ノ諸點ニ付テノ御所見ヲ承リ
タイト思フノデアリマス

○内務府委員 實ハ職業紹介所ガ官制ノ
改正ニ依リマシテ、職業指導所ト相成ツタ
ノデアリマス、隨テ事實上ハ御話ノヤウナ
合併ト申シマスカ、職業紹介所ガ看板ヲ指
導所トシテ、去ル一日カラ其ノ事務ニ當ツ
テ居ル、斯様ニ相成ツテ居リマス、サウシテ
改正ノ際ニ新タニ——在來モ御承知ノヤウ
ニ職業轉換ノ相談ヲシ、斡旋ヲヤツテ居ツ
タノデアリマスガ、今回ノ改正ニ伴ヒマシ
テ、積極的ニ之ニ乗出スコトニ致シマシテ、
御話ノヤウナ點ヲ十分考慮致シマシテ、今
回約三百人バカリノ者ヲ、全國ニ増員シタ
ノデアリマスガ、是等ハ事ヲ民間ノ業者ノ
中カラ囑託ヲスル、サウシテ實情ヲ能ク知
ツタ上デ親切ニ指導スルト云フヤウナ意味
合デ、在來ノ主事、主事補ト云フ待遇官吏
ノ採用デナシニ、民間ノ經驗者ヲ其儘ノ資
格ニ於キマシテト言ヒマスカ、主事、主事
補ニ致ス際ニ於キマシテハ、資格ノ問題デ
多少ノ引掛リヲ生ジマスノデ、囑託ト云フ
名義ヲ以テマシテ民間ノ經驗者ヲ採用致シ
マシテ、是ガ専ラ其ノ方面ニ當ルノ外、所
長ハ無論其ノ他ニ之ニ全力注ギマシテ、親切ナ
ル指導ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○伊東委員 モウ一點御尋ネシタイコトハ、
國民勤勞訓練所ノ問題デアリマス、轉業者
ニ最重要ナル役割ヲ持ツテ居ルノデアリ
マスルガ、今日マデ此ノ種ノ訓練ヲシタ成
績ハドウナツテ居ルノカ、又指導所トノ關
係ハドウスルノデアルカ、訓練所ハ東京、
大阪ノ二箇所ニ設置シテ、更ニ成績如何デ
増設スル、斯ウ云フ御方針ノヤウデアリマ
ス、只今一箇所ニドレ位ノ收容人員ガアル

ノデアリマスルカ、又目下ノ入所希望者ハ
ドウ云フ状態デアルカ、多クナツ場合ノ
増設ノ考ヘハドウデアアルカ、尙又收容訓練
ノ期間デアリマスルガ、大體三箇月ト云フ
ヤウニナツテ居ルヤウデアリマス、是デ訓
練ガ出來ル人モアリマセウシ、或ハ業種ニ
依ツテハ尙ホ長期訓練ヲシナケレバナラス
者ガアルデハナイカト、斯様ニ考ヘルノデ
アリマス、尙ホ此ノ期間ニ收容中ノ經費等
ハ、ドウ云フ工合ニサレルノデアリマスルカ、
尙ホ此ノ種ノ訓練所ニハ必ズ特色ガナケレ
バナラス、御役所式デハ眞ノ訓練ハ出來ナ
イト思ツテ居リマスルガ、御方針如何デア
リマスルカ

○内務府委員 訓練所ノ數ハ大體只今ノ
所デハ東京方面ニ一箇所、大阪方面ニ一箇
所、此ノ二箇所ヲ取敢ズ豫定シテ居ルノデ
アリマシテ、目下建設ニ付テノ準備ヲヤリ
ツツアル状態デアリマスガ、七、八月頃ニ
ハ開所ノ運びニ至ルト存ジマス、是ハ定員
ハ各、千名デアリマシテ、現在考ヘテ居リマ
スノハ、訓練期間ハ約一箇月位ト考ヘテ居
リマス、専ラ基礎的訓練ニ依リマシテ、新
シイ職場ニ就ク身構ヘト、身體、精神兩方
面ノ構ヘヲ作ルト云フヤウナ意味ノ訓練デ
アリマス、此ノ期間中ハ一日平均一圓ノ給
與ヲ致ス積リデアリマス、一箇月デアリマ
スノデ、全體ガ回轉致シマシテモ、其ノ數
ハ兩所合ハセマシテ二萬四千ニシカナラナ
イノデアリマスガ、是ト略、似マシタ施設ト
致シマシテ、現在各府縣ニ百二十箇所ノ職
業指導所ト云フモノガゴザイマス、是ハ大
體二箇月、更ニ此ノ百二十箇所ノ指導所ノ
外、曩ニ豫備金並ニ追加豫算ノ支出ニ依リ
マシテ、七十五箇所ヲ増設致シマシテ、約

二百箇所ノ職業指導所ヲ設置致シタノデア
リマス、是等ハ夜間ノモノ、晝間ノモノ兩
様アリマシテ、短イモノハ二箇月足ラズ、
長イモノハ三箇月ト云フ期間デアリマシテ、
機械、製圖ノ外、事務的指導ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、是ガ收容人員ハ在來ニ於キ
マシテ二萬、新タニ七十五箇所ノ増加ニ依
リマシテ、合セテ一年約三萬位ノ收容ガ出
來ルノデアリマス、是ト訓練所ト相俟チマ
シテ、中ニハ訓練所ノ一箇月ノ訓練期間ヲ
經マシタ者デ、更ニ長期ノ技術ヲ授ケル必
要上、重ネテ指導所ニ入所スル者モ出來テ
參ルカト存ジマス、何レニ致シマシテモ補
導所入所中、竝ニ訓練所入所中ニ於キマシ
テハ、職業指導所ト專ラ密接ナル關係ヲ付
ケマシテ、其ノ間ニ於キマシテ訓練ト同時
ニ、本人ノ適性ヲ十分研究致シマシテ、是
ガ適所ニ御世話ヲ致シ、隨テ期間ヲ經マシ
テ卒業スルマデニハ、適當ナル就職口ガ見
付カル、斯ウ云フ風ナ意味ヲ以テマシテ、
之ヲ目的ト致シマシテ、指導所トノ間ニハ
十分ナル連繫ヲ付ケテ訓練シ、指導シテ參
リタイ、斯様ナ方針ヲ持ツテ居リマス

○伊東委員 中央ニ二箇所カ三箇所カ、或
ハ千人、二千人ト云フ澤山ナ人ヲ訓練所ニ
收容スルヨリモ、寧ロ各府縣ニ御話ノヤウ
ニ指導所ヲ分散スル方ガ、又收容ヲ受ケル
側カラ言ツテモ、訓練ヲ受ケル側カラ言ツ
テモ效果のダト思フノデアリマスノデ、私
ハ出來ル限り中央ニ集團訓練ヲヤルヨリモ、
寧ロ地方ニ分散訓練ヲヤル方ガ一番效果の
ダ、而モ此ノ經費ノ如キハ、モウ少シ政府
ガ掛ケラレテモ宜イノデハナイカト思ヒマ
スノデ、此ノ方面ニ十分ナル施設ノ完璧ヲ
シテ戴キタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キマ

ス
尙ホ職業轉換ノ問題デアリマス、現在勞
働者ガ足りナイ爲ニ、軍需工場アタリデ鐵
砲ノ彈ヲ造ルト云フコトマデ、婦人ガヤツ
テ居ルト云フコトモ、或ハ其ノ他ノ劇勞ニ
婦人ガ從事シテ居ルト云フヤウナコトモア
ルヤウニ見受ケルノデアリマス、併シ私ハ
此ノ場合ニ男子ノ職業デアツテ、婦人ノ代
リ得ルコトガ宜イト云フ所謂職業轉換ノ指
導ガ、非常ニ必要デハナカラウカ、斯様ニ考
ヘルノデアリマス、譬ヘテ見マスルナラバ、
理髮師ノ如キ、是ハ婦人ノ方ガ適業ダと思フ
ノデアリマス、ソコデハハ免許制度デアリ
マスルカラ、女理髮師ニ代ヘルト云フコト
ハ、自然ニ出來得ル問題ダと思フノデアリ
マス、或ハ料理人ノ如キモ、男ヲ使フヨリ
モ婦人ガ宜イノデヤナイカ、或ハ汽車、自
動車ノ車掌トカ、ホテルノ「ボーイ」トカ、
「店員」トカ、或ハ銀行、會社其ノ他ノ役所
ノ事務員モ、出來得ル限り女ト切替ヘテ、
男ノ勞働力ヲ他ノ方面ニ轉換スルト云フヤ
ウナ指導方針ヲ御立デニナルト、茲ニ勞働
力ノ裕リガ非常ニ出テ來ルト思フノデアリ
マス、モウ一ツハ女給トカ藝者トカ云フヤ
ウナ問題デアリマスルガ、是ハ酒ノ制限、
時間ノ制限ニ依ツテ、自然ニ淘汰サレルノ
デアリマスルケレドモ、當局ハ須ク斯ウ云
フ方面ニ積極的ニ斡旋轉業ノ勞ヲ取ラレル、
是ハ全國ニ夥シイ數デアリマスノデ、斯ウ云
フヤウナ人達ノ轉換轉業ヲ、今カラ着々進
スルト云フヤウナコトハ、極メテ積極味ノ
アルコトダと思ツテ居リマスルガ、是等職
業轉換ニ關スル御所見ヲ承リタイノデアリ
マス

○内務府委員 御說御尤モデアリマシテ、

昨年三月總動員法ニ依リマス青少年雇入制限令ノ發動ハ、正ニ御説ノ趣旨ヲ具體化スベク發令ニ相成ツタ次第デアリマス、男子ニ於キマシテハ十二歳カラ三十歳ノ制限、女子ニ於キマシテハ二十以下デアリマス、女子ニ付キマシテハ特殊のニ、今御指摘ニナリマシタ料理店トカ、或ハ興行場、隨テ藝者、女給ト云フヤウナモノヲ對象ト致シマシテ雇入ヲ抑ヘテ參リマシテ、自然ニ其ノ數ノ減少スルヤウナ運ビニ至ツテ居リマス、男子ニ付キマシテハ、是ガ施行ヲ全面的ニ致シマシテ、今ノ軍需工業デアルトカ、生産力擴充工業デアルトカ云フ方面ニ於キマシテハ、數ニ制限ナク自由ニ之ヲ採用致サセマスガ、女ヲ以テ代ヘ得ル商業方面ト云フヤウナ場面ニ於キマシテハ、雇入ヲ抑ヘテ參リマシテ、積極的ニハ解雇ヲ命ジマセヌガ、自然ニ減ツテ行ク、斯ウ云フ風ナ方針ヲ昨年三月以來執ツテ居ル次第デアリマス

○伊東委員 厚生省關係ハ其ノ程度デ止メテ置キマシテ、國民更生金庫ノコトニ付テ御尋ネ致シ、尙ホ引續キ配給機構ノ問題ニ付テ御尋ネシタイト思ヒマス、先ヅ國民更生金庫ニ對スル大臣ノ説明デハ、簡單デアツテ分ラナイノデアリマスルカラ、私ハ此ノ點ニ付テ、少シク内容ニ付テ御尋ネシタイト思フノデアリマス、大體此ノ金庫ハ轉業者ニ對スル物ノ問題ト金ノ問題ヲ解決スル施設デアルト言ヒ得ルノデアリマス、轉業者ガ一番苦痛トスルハ負債ノ整理、資産ノ處分ノ問題デアリマス、尙ホ又支那トカ滿洲トカ云フヤウナ所ニ、移民ヲスル場合ニ於テハ、子供ノ教育トカ、老父母、病人等ノ問題ガ一番苦痛ノ種デアリマスルガ、此ノ點ニ付テハ後カラ御伺ヒスルコトニ致シマシテ、先ヅ第一ニ御尋ネシタイコトハ、只今暫定的ノ處置トシテ政府ガ出資シテ財團法人ノ更生金庫ガ出來テ居ルノデアリマスルガ、設立後既ニ三箇月ニナツテ居ルノデアリマスルガ、今日マデノ成績ハドウ云フ工合ニナツテ居ルノデアリマスルカ、現況ノ説明ヲシテ戴キタイト思フノデアリマス

○相田政府委員 財團法人ノ國民更生金庫ハマダ具體的ニ事業ヲ致シテ居リマセヌ、何時デモ仕事ノ出來ル準備ハ出來テ居ルノデアリマス、唯業者ノ側ニ於キマシテ、轉廢業ノ計畫ガ進捗致シマセヌ爲ニ、自然金庫ト致シマシテモ、尙ホ仕事ガ出來ナイデ居ル譯デゴザイマス

○伊東委員 創立後相當ナ期日ニナツテ居リマスルケレドモ、其ノ對象デアル轉職問題等ニ付テ、マダ進捗シナイ爲ニ開店休業ノ有様デアル、斯ウ云フコトデアリマス、併シ本法ガ通過致シマスルト、規模モ大キクナルシ、ソレハ整備致シマスルノデ、此ノ金庫ノ利用者モ相當殖エナケレバナラヌト思フノデアリマスルガ、サウスル場合ニ於ケル金ノ貸付ニ一番必要ナノハ、中央ニ評議員會ガ設置サレルコト思フノデアリマスルガ、此ノ構成ハ、ドウ云フ工合ニナルノデアリマスルカ、又府縣デモ地方委員會ガ出來ルコト思ヒマス、既ニ出來タノカモ知レマセヌガ、更ニ町村ニモ更生委員ノ制度ガ置カレルヤウニ承ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ陣容竝ニ手當等ハドウ云フ工合ニナルノデアリマスルカ、此ノ點ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○堀政府委員 更生金庫ガ動キマスニ付キマシテ設ケラレマシタ轉廢業者資産評價委員會ノコトヲ御説明申上ゲマス、轉廢業者資産評價委員會ハ、中央ニ中央委員會、各道府縣ニ地方委員會ト云フモノガ置カレルコトニ相成ツテ居リマス、其ノ官制ハ先日公布ニナリマシタ、ソレカラ中央委員會ノ方モ、委員ノ任命ガアツタノデゴザイマス、其ノ構成ト致シマシテハ關係廳ノ官吏、學識經驗者ト致シマシテ商工會議所ノ會頭、商業組合、工業組合、貿易組合等ノ各中央會ノ會長デアリマス、經濟聯盟等經濟界ノ代表者、其ノ外ニ主ナル各業種ノ代表ノ方、サウ云フ方々ニ委員ヲ御願ヒシテ、四十一名ノ委員ガ任命サレテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ地方委員會ノ方ハ只今設立ノ手續中デゴザイマス、是ハ各地方長官ガ會長トナリマシテ、其ノ管下ニ於キマスル商業ノ代表者デアリマスルカ、其ノ他關係廳ノ官吏ト云フヤウナ方大體十五名位——東京、大阪ハ二十名位ノ委員デ構成サレルノデアリマス、ソレハ只今任命ノ手續中デゴザイマス、ソレカラ更生委員ノ御話ガゴザイマシタガ、是ハ從來トモ地方ニ中小商工業者ノ相談相手トスルト云フ意味ニ於キマシテ更生委員ト云フモノガ置イテアツタノデゴザイマス、地方ノ經濟方面ノ適當ナ方ニ御願ヒシマシテ、全國一万數千名ニ及ンデ居ルト思ヒマスルガ、更生委員ト云フモノガ置イテアリマス、又應召者ノ遺家族ガ、其ノ營業ヲ繼續スル上ニ、種々困難ガ多カラウト考ヘマシテ、産業奉仕委員ト云フモノヲ、ヤハリ地方ニ一万數千名置イテ居ツタノデゴザイマス、更生委員モ産業奉仕委員モ大體同ジヤウナ仕事デゴザイマスノデ、一人ノ人デ兩方兼ネテ居ルト云フヤウナ時代モゴザイマシタ、今回之ヲ纏メマシ

○伊東委員 厚生省關係ハ其ノ程度デ止メテ置キマシテ、國民更生金庫ノコトニ付テ御尋ネ致シ、尙ホ引續キ配給機構ノ問題ニ付テ御尋ネシタイト思ヒマス、先ヅ國民更生金庫ニ對スル大臣ノ説明デハ、簡單デアツテ分ラナイノデアリマスルカラ、私ハ此ノ點ニ付テ、少シク内容ニ付テ御尋ネシタイト思フノデアリマス、大體此ノ金庫ハ轉業者ニ對スル物ノ問題ト金ノ問題ヲ解決スル施設デアルト言ヒ得ルノデアリマス、轉業者ガ一番苦痛トスルハ負債ノ整理、資産ノ處分ノ問題デアリマス、尙ホ又支那トカ滿洲トカ云フヤウナ所ニ、移民ヲスル場合ニ於テハ、子供ノ教育トカ、老父母、病人等ノ問題ガ一番苦痛ノ種デアリマスルガ、此ノ點ニ付テハ後カラ御伺ヒスルコトニ致シマシテ、先ヅ第一ニ御尋ネシタイコトハ、只今暫定的ノ處置トシテ政府ガ出資シテ財團法人ノ更生金庫ガ出來テ居ルノデアリマスルガ、設立後既ニ三箇月ニナツテ居ルノデアリマスルガ、今日マデノ成績ハドウ云フ工合ニナツテ居ルノデアリマスルカ、現況ノ説明ヲシテ戴キタイト思フノデアリマス

○相田政府委員 財團法人ノ國民更生金庫ハマダ具體的ニ事業ヲ致シテ居リマセヌ、何時デモ仕事ノ出來ル準備ハ出來テ居ルノデアリマス、唯業者ノ側ニ於キマシテ、轉廢業ノ計畫ガ進捗致シマセヌ爲ニ、自然金庫ト致シマシテモ、尙ホ仕事ガ出來ナイデ居ル譯デゴザイマス

○伊東委員 創立後相當ナ期日ニナツテ居リマスルケレドモ、其ノ對象デアル轉職問題等ニ付テ、マダ進捗シナイ爲ニ開店休業ノ有様デアル、斯ウ云フコトデアリマス、併シ本法ガ通過致シマスルト、規模モ大キクナルシ、ソレハ整備致シマスルノデ、此ノ金庫ノ利用者モ相當殖エナケレバナラヌト思フノデアリマスルガ、サウスル場合ニ於ケル金ノ貸付ニ一番必要ナノハ、中央ニ評議員會ガ設置サレルコト思フノデアリマスルガ、此ノ構成ハ、ドウ云フ工合ニナルノデアリマスルカ、又府縣デモ地方委員會ガ出來ルコト思ヒマス、既ニ出來タノカモ知レマセヌガ、更ニ町村ニモ更生委員ノ制度ガ置カレルヤウニ承ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ陣容竝ニ手當等ハドウ云フ工合ニナルノデアリマスルカ、此ノ點ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○堀政府委員 更生金庫ガ動キマスニ付キマシテ設ケラレマシタ轉廢業者資産評價委員會ノコトヲ御説明申上ゲマス、轉廢業者資産評價委員會ハ、中央ニ中央委員會、各道府縣ニ地方委員會ト云フモノガ置カレルコトニ相成ツテ居リマス、其ノ官制ハ先日公布ニナリマシタ、ソレカラ中央委員會ノ方モ、委員ノ任命ガアツタノデゴザイマス、其ノ構成ト致シマシテハ關係廳ノ官吏、學識經驗者ト致シマシテ商工會議所ノ會頭、商業組合、工業組合、貿易組合等ノ各中央會ノ會長デアリマス、經濟聯盟等經濟界ノ代表者、其ノ外ニ主ナル各業種ノ代表ノ方、サウ云フ方々ニ委員ヲ御願ヒシテ、四十一名ノ委員ガ任命サレテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ地方委員會ノ方ハ只今設立ノ手續中デゴザイマス、是ハ各地方長官ガ會長トナリマシテ、其ノ管下ニ於キマスル商業ノ代表者デアリマスルカ、其ノ他關係廳ノ官吏ト云フヤウナ方大體十五名位——東京、大阪ハ二十名位ノ委員デ構成サレルノデアリマス、ソレハ只今任命ノ手續中デゴザイマス、ソレカラ更生委員ノ御話ガゴザイマシタガ、是ハ從來トモ地方ニ中小商工業者ノ相談相手トスルト云フ意味ニ於キマシテ更生委員ト云フモノガ置イテアツタノデゴザイマス、地方ノ經濟方面ノ適當ナ方ニ御願ヒシマシテ、全國一万數千名ニ及ンデ居ルト思ヒマスルガ、更生委員ト云フモノガ置イテアリマス、又應召者ノ遺家族ガ、其ノ營業ヲ繼續スル上ニ、種々困難ガ多カラウト考ヘマシテ、産業奉仕委員ト云フモノヲ、ヤハリ地方ニ一万數千名置イテ居ツタノデゴザイマス、更生委員モ産業奉仕委員モ大體同ジヤウナ仕事デゴザイマスノデ、一人ノ人デ兩方兼ネテ居ルト云フヤウナ時代モゴザイマシタ、今回之ヲ纏メマシ

○伊東委員 此ノ金庫ノ資本金ハ、二千萬圓ノ中千九百萬圓ハ政府ガ出資スル、残り百萬圓ハ如何ナル方面カラ出資サセルノデアリマスルカ、尙ホ又本社ハ東京、支店ハ大阪、出張所ヲ各府縣ニ置クヤウニナツテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ職員組織ハドウナツテ居リマスルカ、理事長ニハ幸ニ能ク世間ノ表裏ガ分リ、中小商工業者ニ理解ノアル大口サンガ就任サレタヤウデアリマス、併シ理事長ハ元締リハヤリマスルケレドモ、本當ニ仕事ヲシテ行クノハ職員デアリマス隨テ其ノ職員ガ中小商工業者ニ深い理解ヲ持ツテ、サウシテ情味裕カナ人デナケレバナラナイ、要ハ此ノ金庫ノ運用ハ人ニアルト考ヘルノデアリマスガ、是等職員ノ組織ニ付テノ御意見ハ如何デアリマスルカ

○相田政府委員 先ヅ資本金ニ付テ御答ヘ申上ゲマス、資本金ノ中百萬圓ニ付キマシテハ、現在財團法人國民更生金庫ニ對スル全國金融協議會ノ寄附金ガ百萬圓ゴザイマスルガ、財團法人國民更生金庫ハ、此ノ法律ニ依リマスル國民更生金庫ガ出來マスルト、解散スルコトニナツテ居リマシテ、全國金融協議會ヨリノ百萬圓ノ寄附金ハ返還サレルコトニナリマス、ソレヲ其ノ儘此ノ金庫ニ出資シテ貰フコトニナツテ居リマス次ニ此ノ國民更生金庫ノ役職員ノ構成デアリマスガ、全國各道府縣ニ設ケマスル出張所ハ、御承知ノヤウニ現在財團法人國民更生

金庫ニ於キマシテハ、主トシテ勸業銀行ノ各道府縣廳所在地ノ支店、勸業銀行ノナイ所デハ、農工銀行ノ店舗ヲ利用スルヤウニ致シテ居リマスガ、是ハ業務ヲ全國的ニ統一のニ敏速ニ行ヒマスル爲ニハ、成ベク統一アル組織ヲ利用スル方ガ宜シト云フ考ヘカラ、左様致シテ居ルノデアリマシテ、又今後本法ニ依ル國民更生金庫ガ設立セラレマシタ後モ、大體サウ云フ仕組デ行クノデハナイカト考ヘテ居リマス、尙ホ其ノ外ニモ此ノ業務ヲ行フニ最モ適當シタ人間ヲ加ヘマスヤウニ、努力致シタイト思ヒマス、尙ホ此ノ金庫ノ出張所ノ外ニ、更ニ法律ニアリマスヤウニ、銀行其ノ他ノ法人ニ業務ヲ代理セシムルコトヲ得ルコトニナツテ居リマスガ、此ノ業務ヲ代理サセマス法人ト致シマシテハ、銀行ノ外更ニ命令ヲ以テ信用組合、無盡會社、工業組合、商業組合、貿易組合、自動車運送事業組合等ヲ指定スル豫定デゴザイマシテ、轉廢業者ノ分布狀況ナリ、轉廢業者トノ關聯ナリ、十分調査致シマシテ、所期ノ目的ヲ達スルニ適當ナ機構ヲ整備スルコトニ致シ度イト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○伊東委員 業務ノ問題デアリマスルガ、只今御話ノ本法第十七條ニ依リマスルト「第十七條國民更生金庫ハ左ノ業務ヲ行フ一轉廢業者ヲ爲ス工商業者等ノ爲ニスル資産ノ管理又ハ處分ニ轉業又ハ廢業ヲ爲ス工商業者等ノ爲ニスル資金ノ融通ニ轉業又ハ廢業ヲ爲ス工商業者等ノ爲ニスル債務ノ引受又ハ保證四前各號ノ業務ニ附帶スル事業」更ニ此ノ次ノ方ニ「國民更生金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前項ニ掲グル業務以外ノ業務ヲ行フコトヲ得」トアリマスガ、此ノ「業務以

外ノ業務」トハ、如何ナルモノヲ指スノデアリマスカ、尙ホ次ノ項ニ「本法ニ規定スルモノノ外國民更生金庫ノ業務ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、此ノ勅令内容ノ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○相田政府委員 第二項ノ「前項ニ掲グル業務以外ノ業務」ト申シマスノハ、ドウ云フコトヲ豫想致シテ居ルカト申シマス、ト、今後例ヘバ轉廢業者ノ組織シテ居ルト云ヒマスカ、轉廢業者ノ屬シテ居ル組合ガ、轉廢業者ニ對シテ、共助ノ精神ニ依ツテ一定金額ノ給付ヲスルト云フ場合ニ於キマシテ、其ノ支拂ニ充テル爲ニ、資金ノ融通ヲ受ケナケレバナラヌト云フトキニ、此ノ國民更生金庫カラ、其ノ組合ニ之ヲ融通スルト云フヤウナ場合ガアラウト思ヒマス、尙ホ其ノ外今後事態ノ如何ニ依リマシテ、前各號ニ掲ゲテ居リマセヌモノデ、或ハ必要ニナツテ來ルモノガアルカモ知レマセヌノデ、サウ云フ場合ニ備ヘル爲ニ、本項ヲ設ケタ次第デゴザイマス

次ニ第三項ノ勅令ヲ以テ定ムル事項デアリマスガ、今日考ヘテ居リマスコトヲ申上ゲマス、ト、大體先ツ第一ニハ國民更生金庫ノ業務ノ對象トナルベキモノノ範圍ニ付テ規定致シタイト考ヘテ居リマス、即チ國民更生金庫ノ業務ノ對象トナルベキモノノ範圍ハ、左ノ事由ニ基イテ轉業又ハ廢業ヲナス中小商工業業者等トスルコト、一、國際情勢ノ變化ニ基ク商品ノ輸出ノ不振又ハ原材料若クハ商品輸入ノ減少、二、時局ノ進展ニ伴フ統制強化ニ基ク物資ノ生産、加工若クハ販賣ノ禁止又ハ制限、三、時局ノ進展ニ伴フ統制ノ強化ニ基ク原材料又ハ取扱商

品ノ配給ノ減少、四、時局ノ進展ニ伴フ物資ノ生産若クハ配給ノ統制又ハ物價政策ノ遂行上必要ナル生産又ハ配給機構ノ整備、斯ウ云ツタ事由ニ依リマシテ、轉業又ハ廢業ヲナス中小商工業業者等ヲ、對象トスルノデアルト云フコトヲ規定スルノガ一ツデアリマス、尙ホ其ノ外ニ色々ノコトヲ規定シナケレバナラヌノデアリマスガ、主ナルコトヲ申上ゲマス、ト、資産ノ評價ニ付キマシテハ、即チ轉業又ハ廢業ヲナス者ノ爲ニ、資産ノ處分ヲ引受ケマス場合ノ其ノ資産ノ評價ハ、轉廢業者資産評價委員會ノ議ヲ經テ、地方長官ガ決定シタル所ニ從ツテ、一應營業ヲ繼續スルモノトシテノ妥當ナル價格ニ依ルモノトスルコト、次ニハ斯ノ如クニシテ引受ケマシタ資金ノ處分價格ト引受價格トノ間ニ、差損額ヲ生ジマシタ時ニハ、之ヲ免除スルコトヲ得ルモノトスルコト、次ニハ國民更生金庫ハ、轉業又ハ廢業ヲナス者ノ爲ニ、資金ノ融通又ハ債務ノ引受、若クハ保證ヲナシタル場合ニ於テ、融通元金及ビ其ノ利息、又ハ求償權タル債權及ビ其ノ利息ノ回收ニ付テハ、引受ケタ舊業務用以外ノ資産及ビ收入ニ對シテ、權利ノ行使ヲ爲サザルコトヲ得ルモノトスルコトヲ云ツタヤウナコトヲ、規定致シタク考ヘテ居リマスガ、今申上ゲマシタコトハ勿論マダ決定致シタコトデハゴザイマセヌ、一應係ノ者トシテ考ヘテ居リマス所ヲ申上ゲタ次第デゴザイマス

○伊東委員 只今ノ御説明ノ勅令内容デ大體能ク分リマシタガ、更ニ貸付方針、補償問題等ニ付テ少シク御伺ヒシタイト思ヒマス、此ノ金庫ノ特色トシテハ、轉廢業者ノ所屬スル商業組合、若クハ工業組合ニ於テ

樹立致シマシタ所ノ、負債整理計畫ニ基イテ、此ノ貸出シテ決定スルト云フコトニナルヤウニ伺ツテ居リマス、其ノ場合ニ於ケル整理ヲ受ケルモノト、存続スルモノトノ決定ガ、非常ニ困難ダト考ヘテ居リマス、殊ニ商業組合ノ經營スル其ノ立場カラモ非常ニ問題デアリマス、尙ホ營業用ノ動産、或ハ不動産ノ評價資金、貸付高ノ決定等ガ、極メテ重大デアリマス、是ハ委員會ノ重要ナル役割デモアラウト考ヘマス、尙ホ此ノ營業用品モ、不動産モ、營業ト一體トナツテ初メテ相當ノ價值ガアルノデアリマス、ソコデ營業ヲ離レタ流動産ノ如キハ、全ク屑物同様ニナルノデアリマス、此ノ場合ノ評價又ハ處分ガ適正デナケレバ、安ンジテ轉業スル、或ハ滿洲ニ行クトカ、支那ニ行クトカ云フヤウナコトハ頗ル困難デアル、是ガ此ノ金庫トシテノ大キナ狙ヒ所デハナカラウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、政府ノ御方針ハ是等ニ對シテ如何デアリマスカ

○堀政府委員 轉廢業者ヲ決定スルニ付テ、組合當事者トシテ困難ヲ感ズルデアラウト云フ意味ノ御質問ニ付キマシテ、私カラ御答ヘ申上ゲマス、只今御話ノ通り非常ニ實際問題トシテ難カシイ問題ト考ヘテ居リマス、工業者ノ方ニ付キマシテハ、其ノ設備或ハ生産能力等ノ關係カラ、比較的其ノ限度ヲ決メルコトガ機械的ニ容易ナノデハナカラウカト考ヘマスガ、商業者ニ付キマシテハ、中々斯様ナ基準モ決リマセヌノデ、機械的ニ之ヲ區別スルコトハ難カシイト考ヘマス、結局ハヤハリドウシテモ商業組合ノ内部關係ト致シマシテ、業者ノ話合デ行クシカナカラウト、私共ハ考ヘテ居ル

ノデゴザイマス

○相田政府委員 資産ノ評價ニ付キマシテ

御尋ネガゴザイマシタ、御意見ノ點洵ニ御尤モデアリマシテ、此ノ評價ガ適當デアリマセスト、折角本金庫ヲ設立致シマシタ目的モ達セラレナイコトニナリマスノデ、中央地方ニ設ケラレマスル轉廢業者資産評價委員會ノ諮問ヲ經マシテ、地方長官ノ決定スル所ニ依ルノデアリマスガ、此ノ決定ハ當該營業ヲ一應繼續スルモノトシテ、安當ナル價格ニ依ルノデアリマスカラシテ、今マデノ金融ノ方法ト、ソコニ非常ナ根本的ナ考ヘ方ノ違ヒモゴザイマスノデ、斯ウ云フ方法ニ依リマシテ、轉廢業者ノ轉廢業計畫ノ樹立及ビ遂行ヲ便宜ナラシメ、促進スルコトガ出來ルト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○伊東委員 然ラバ政府ノ補償問題ドウ

スルカト云フ問題デアリマスガ、査定價格ト賣却價格ノ差額ハ、政府ガ之ヲ補償スルト言ハレテ居リマス、是ハ當然ナコトデ、此ノ點ガ此ノ金庫ノ特色ダト思ヒマス、然ルニ企業合同ノ如キガ、例ヲ取レバドンドン是カラ行ハレテ行クト致シマス、例ヘバ米屋十軒ガ一軒ニナル、サウナリマスルト家宅地モ必要ガナイヤウニナリマスルカラ、隨テ價格ノ大低降ヲ來シマス、電話モ十箇アツタモノガ企業合同ヲヤレバ一軒一箇ニナルノデ、現在千圓シタ電話モ、斯ウ云フ曉ニ於テハ三百圓ニナルト致シマスルト、其處ニ七百圓ト云フ差損金ガ出ルノデアリマス、是ハモウ事實問題トシテ、斯ウナツテ來ルト思フノデアリマス、ソコデ物件ヲ引受ケタ金庫ハ、其ノ財産處分ヲ如何ニスルカ、賣レナカツタ場合ニ

ハ丸損ヲスルノデアルカ、又賣掛代金ノ如キモ、此ノ金庫ガ引受ケルト云フコトニナラナケレバナリマセヌガ、取レナカツタ場合ニハ一體ドウナルノカ、斯ウ云フヤウニ數ヘテ來マス、此ノ金庫ノ損害ト云フモノハ、相當大キイモノヲ豫想シナケレバナライ、又其處ニ本金庫ノ特色ガアルト、左様ニ考ヘルノデアリマス、ソレヲ

補償スルト言ツテ居リマスケレドモ、本法ノ第三十七條ヲ見マス、斯ウアルノデアリマス、「政府ハ國民更生金庫ニ對シ第十七條ニ規定スル業務ニ因リテ受ケタル損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得、前項ノ契約ハ之ニ基キ交付スベキ補償金ノ總額ガ帝國議會ノ協贊ヲ經タル金額ヲ超エザル範圍内ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス」トアリマスガ、一體十六年度ノ豫算ニ補償見込額ハ幾ラアルノデアリマスルカ、其ノ次ニ「第一項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム」トアルノデアリマスガ、基準ト云フノガ非常ニ大キナ問題デアリマス、一體此ノ基準トハドンナモノデアリマスルカ、其ノ内容ノ説明ヲシテ戴キタイト思フノデアリマス

○相田政府委員 豫算外契約ハ六千五百万

圓ニナツテ居リマス、之ニ依リマシテ差當リ當面ノ必要ニ應ズルコトガ出來ルト思フテ居リマスガ、尙ホ將來是デ不足ヲ來スヤウナ場合ニハ、更ニ増額ヲ御願ヒスルコトニナツテ居リマス、次ニ損失決定ノ基準デアリマスガ、此ノ損失決定ノ基準モ、尙ホ正確ニ決定致シテ居ルモノハマダゴザイマセヌケレドモ、大體他ノ損失補償ノ契約ノ例ニ倣ヒ、ソレニ此ノ金庫ノ特色ヲ加ヘマシテ、損失補償契約ノ中ニ、其ノ基準ヲ決

メタイト考ヘテ居ルノデアリマス、極ク大雜把ニ申上ゲマス、補償スベキ損失ノ範圍ハ、資産ノ處分引受價額ト實際處分價額トノ差損額、貸付金ノ回收不能額、引受債務額、又ハ保證債務實行額ニシテ債務者ヨリ回收シ得ザリシ金額、以上各種ノ用途ニ充當シタル資金ノ原價其ノ他之ニ附帶スル諸損失ト云ツタモノヲ、補償スルト云フコトニナラウカト存ゼラレマス、現在ノ財團

法人國民更生金庫カラ承繼シマシタ資産、負債ニ付キマシテモ、大體右ニ準ズル損失ヲ補償スルト云フコトニナラウト思ヒマス、尙ホ正確ナルコトハ今後決メマスコトデ、今確定シタ案ト云フモノハ、實ハ持合セテ居リマセヌ

○伊東委員 轉廢業者ノ國家ノ要請ダト考ヘマ

ス、ソコデ國策線ニ副フ所ノ轉廢業者ト云フモノハ、積極的ナ勇敢ナル行動デアリマス、三代モ四代モ續イタ家業ヲ振拾テテ、外國ニ勤クト云フ氣持ハ、洵ニ同情スベキモノガナケレバナリマセヌ、故郷ヲ離レテ國策ノ犧牲ニナル此ノ轉廢業者ニ對シテ、國家ガ高度ノ補償ヲスルト云フコトハ、當然過ギル程當然ナコトデアリマス、所デ只今御說明ノ豫算外契約ハ、六千五百万圓ト云フ御話デアリマスルガ、此ノ補償デ果シテ轉廢業問題ガ解決出來ルノデアリマセウカ、尙ホ不足ガ生ジタ場合ニハ、追加豫算デ處理スルト云フヤウナ御話デアリマス、此ノ場合ニ國家ノ補償問題ハ、特ニ此ノ金庫ノ特色ヲ發揮サセル上ニ於テ、非常ニ大切ナ問題デアリマス、ソコデ此ノ第三十八條ニ、「前條第一項ノ損失及其ノ額ハ國民更生金庫損失審査會之ヲ決定ス」トアリ、「國民更生金庫損失審査會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以

テ之ヲ定ム」トアリマスノデ、此ノ審査會ノ決定ト云フモノガ、非常ニ重要ナ役割ヲスルコトニナル、此ノ金庫ガ伸ビテ行クノモ、又轉廢業者ガ利用スルノモセヌノモ、一ニ此ノ損失補償ノ問題ニ懸ルコトガ多イト思ヒマスガ、一體勅令ノ内容ハドウ云フ工合ニナツテ居ルノデアリマスカ、此ノ點御伺ヒ致シマス

○坂口政府委員 此ノ國民更生金庫ノ損失ノ決マリマスノハ、今御話ノアリマシタヤウニ、國民更生金庫損失審査會ニ於テ決マルノデアリマスガ、此ノ金庫ノ性質上、此ノ金庫ガ引繼ギマス引受價格如何ガ、此ノ金庫ノ損失ノ多寡ヲ決メタル重要ナ要素トナリマス、國民更生金庫損失審査會ノ決定モ、仰セノ通り勿論重要ナ事項デアリマスガ、先程銀行局長カラ御話ガアリマシタヤウニ、轉廢業者資産評價委員會ニ於キマシテ引受價格ヲ決メマス、此ノ金庫ハソレニ從ヒマシテ引受ケマスノデ、其ノ引受價格モ亦此ノ金庫ノ損失ニ非常ニ影響ガアルノデアリマス、ソコデ此ノ金庫ノ損失ハ國民更生金庫損失審査會、竝ニ前ニ申シマシタ評價委員會ノ評價ニ依リマシテ、此ノ金庫ノ損失ノ如何ハ決マル譯デゴザイマス、御話ノ國民更生金庫損失審査會ハ、他ノ損失補償審査會ノ例ニ倣ヒマシテ作ル豫定デゴザイマシテ、マダ具體的ニ決メテ居リマセヌ、此ノ法案ガ通過致シマスレバ、速カニ其ノ組織權限ヲ決メル積リデ居リマスルガ、ソレハ他ノ例ガゴザイマスノデ、大體ソレニ依リタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

ソレカラ先程此ノ金庫ガ初年度ニ於キマシテ結ブコトノ出來マスル豫算外契約ノ損失補償額六千五百万圓ニ付テ、如何ニモ少

イヤウナ御話ガゴザイマシタガ、是ハ差當
ツテ必要ナ額ニ止メタ譯デゴザイマシテ、
此ノ額ハ此ノ金庫ガ仕事ヲ始メマシテカラ、
一年間分位ヲ大體見込シ居ル譯デゴザイ
マシテ、必ズシモ其ノ額ハ少イトハ、私ハ
考ヘテ居ラナイヤウナ次第デゴザイマス
カ、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○伊東委員 從來政府ガ中小工業者ニ對ス
ル救済ノ爲メ、或ハ更正ノ爲メ、低利融資ノ
方法ヲヤツテ居リマシタガ、其ノ數ハ數種
アリマスルケレドモ、私共ノ見ル所デハ何
レモ立派ナ成績ヲ擧ゲテ居ルモノハ少イデ
ハナイカ、斯ウ云フ工合ニ考ヘルノデアリ
マス、ソコデ今度特ニ特色ヲ持ツテ居ル此ノ
更生金庫ノ問題デアリマスルガ、一體此ノ
金庫ノ貸付計畫ト云フヤウナモノガ、大體
アルカト思フノデアリマスルガ、之ヲ御示
シシテ戴キタイ、尙ホ其ノ計畫ノ中ニハ、
貸付ノ最低最高豫定額ト云フモノガ、大體
アル筈デアリマス、無論是ハ物權擔保ノ場
合、或ハ其ノ他ノ評價ノ如何ニモ依ルコト
ダトハ思ヒマスルケレドモ、大體ノ標準ガ
アルコトト思ヒマスルノデ御示シテ願ヒタ
イ、尙又此ノ償還期間ヲドウ云フ工合ニサ
レルノデアリマセウカ、或ハ金利等ニ付テ
モ是ハ考ヘテ居ラレルノデアリマスルカ、
無論私共ハ金利等ハ御考ヘニナツテ居ラ
ナイモノト考ヘテ居ルノデアリマス、尙又物
權以外ノ營業權ノ問題デアリマス、此ノ營
業權ハドウ云フヤウナ評價ヲサレルノデア
リマスルカ、工業者ノ場合ニハ割合ニ此ノ
點設備ガアルカ宜イノデアリマスルガ、
商業者ノ場合ニハ此ノ營業權ノ問題ヲ相當
考ヘナケレバナリマセウカ、此ノ標準ヲドウ
サレルノデアリマスルカト云フ點、及ビ此

ノ金庫ハ資本金ガ二千万圓デアリマシテ、
更生債券ヲ其ノ十倍ノ二億圓マデ發行スル
コトノ出來ル法律ノ内容デアリマス、ソコ
デ轉業スルニハ、私共ノ豫想デハ少クトモ
三千圓位ハ要ルノデハナカラウカ、左様ニ
考ヘル場合ニ於テ最極限ノ二億圓ヲ一人三
千圓ト致シマシテモ、漸ク六万六千餘人ニ
シカ貸付クルコトガ出來ナイ、左様ニ考ヘ
ルノデアリマス、ソコデ最初カラ此ノ轉業
者ノ數、或ハ失業ノ數ヲ、私共ハ強クハ
ツキリサレルコトガ必要ダ、此ノ失業ノ
數ガ分ツテ、初メテ貸付ノ對象ト云フモノ
ガ分ル、ソコデ貸付融通額等モ決定ガ出來
ル、或ハ一人ニ對スル貸付金額等ニ付テモ
豫想ガ出來ル、一體此ノ法律ガ出來ルニモ
拘ラズ、貸付ノ對象ガ分ラヌト云フヤウナ
コトデハ、是ハ旨ク行クノデアアラウカト云
フヤウナコトヲ考ヘルノデアリマス

今一ツハ此ノ貸付ノ手續上ノ問題デアリ
マスガ、從來ノヤウニ手續ガ複雑デアツタ
リ、或ハ貸付ニ時日ヲ要シタリ、或ハ金額
ガ意外ニ少カツタリシタヤウナ場合ニハ、
モウ轉業資金ト云フヤウナモノニハナラナ
イ、隨テ折角轉業シヨウ、サウシテ總テノ
コトヲ金庫ニ託シテ、安ンジテ外地ニ行ツ
テ働カウト思ヒマシテモ、是等ノ問題ガ解
決シナケレバ、安ンジテ轉業スルコトガ出
來ナイト云フコトニ相成リマスルノデ、私
ハ是等ノ諸點ニ付テ、必ラズ政府ニハ一ツ
ノ確信ガアルト考ヘテ居リマスルノデ、此
ノ所信ヲ披瀝シテ戴キタイト思フノデアリ
マス

○相田政府委員 大體ノ金庫ノ事業計畫ト
云フヤウナモノハ、考ヘテ居ルノデアリマ
スケレドモ、此處デソレヲ申上ゲマスルコ

トハ、御許シテ願ヒタイト考ヘマス
ソレカラ貸付ノ金額ノ最高最低ニ付テ、
ドンナ工合ニ決メタル積リカト云フ御尋ネト
思ヒマスガ、一人ニ對スル貸付ノ最高最低
ト云フヤウナモノハ、決メナイ積リデ居リ
マス、ト申シマスルノハ、此ノ金庫ニ參リマ
スルモノハ、直接政府或ハ地方廳ノ指導幹
旋ノ下ニ、轉廢業計畫ヲ樹立スルモノデゴ
ザイマシテ、其ノ計畫ニ於テ自ラドレ位ノ
資金ノ融通ガ必要アルカト云フコトモ決
ツテ參リマスルノデ、金庫ノ方ニ於テ最低
最高幾ラト云フコトヲ決メテ置ク必要ハナ
イモノト考ヘテ居ルノデゴザイマス

ソレカラ年限デアリマスガ、引受ケマシ
タ資産ノ換價處分ニ、相當ノ期間ヲ要スル
コトヲ考ヘマシテ、大體五年位ノ融通期限
ハ必要デアラウカト只今ノ所考ヘテ居リマ
ス、ソレカラ營業權ノ評價ヲ如何ニスルカ
ト云フ點ニ付キマシテハ、是モ轉廢業者資
產評價委員會ニ於キマシテ、適正妥當ナル
評價ガ爲サレルモノト考ヘテ居リマス、ソ
レカラ手續ヲ迅速簡易ナラシメナケレバ、折
角ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナクナル虞ガ
アルト云フ御意見ハ、洵ニ御尤モデゴザイ
マス、其ノ點ハ十分ニ實行上注意致シテ行
キタイト存ジマスガ、此ノ金庫ノ貸出ノ相
手方トナリマス者ハ、只今モ申上ゲマシタ
ヤウニ、轉廢業計畫ガ、政府ノ指導ノ下ニ
決ツタ者ガ參リマスルノデ、自然幾ラノ資
金ヲ必要トシ、又負債ノ整理ニ付テハドウ云
フ風ニスルカガ決メラレ、又金庫ノ引受クベ
キ資産ノ評價ニ付テハ、評價委員會ニ於テ決
マルノデアリマスルカ、金庫ノ仕事トシテ
ハ、十分敏捷簡易ニ之ヲ實行スルコトガ出
來ルト考ヘテ居リマス、尙ホ先程モ一寸申

上ゲマシタヤウニ、全國各地ニ出張所ノ外
ニ、更ニ代理所ヲ設ケマシテ、出來得ル限
リ便宜ヲ圖リタイト考ヘテ居ル次第デアリ
マス

○伊東委員 段々御話ヲ聽イテ參リマシテ、
一體政府ガ轉業對策トシテ取上ゲタ訓練
所、指導所及ビ金庫、此ノ三ツノ施設ノ中
デ、更生金庫ガ本當ニ活キテ働キマシテ
レルナラバ、相當轉業對策ニ役立ツト云フ
工合ニ、非常ナル望ミヲ囑シテ居リマス、
又事實是ガ此ノ目的ノヤウニ活動致シマ
スルナラバ、相當效果ヲ上ゲルト考ヘマス、
然ルニ只今マデ段々御話ヲ聽イテ居リマ
ス、ドウモ非常ナル不安ヲ持ツニ至ツタ
ノデアリマスルケレドモ、轉業者ニ取ツテ
ハ此ノ金庫問題ハ、非常ニ期待ヲ持ツテ居
リマスルノデ、特ニ慎重ナル御施設ヲシテ
戴キタイト思ヒマス、併シ私ハ此ノ金庫ノ
ミニ望ミヲ繫イデ居リマシタナラバ、將來
非常ニ多ク出ヤウトシテ居ル失業ノ者ヲ、更
生セシムルコトハ出來得ナイト思ヒマスル
ノデ、之ニ付テハ商工省及ビ厚生省デハ、
眼ヲモウ少シ積極的ニ、大膽ニ他ノ方ニ展
開シテ戴キタイト思フノデアリマス、先程
カラモ申上ゲルヤウニ、南進政策ト云フ如
キ、無論武力ニ依ルコトハ勿論デアリマス
ガ、經濟人ノ進出ヲ必要ト致シテ居リマス、
或ハ滿洲開拓ニ致シマシテモ、其ノ通りデ
アリマス、ソコデ、僅カ千圓ヤ二千圓ノ金
ガアツタカラト云ツテ、到底轉業ト云フモ
ノハ出來ルモノデハナイノデアリマス、ダ
カラ更生金庫ガ二千圓ナリ、三千圓貸シタ
以外ニ、別ニ一ツ旅費ノ支給其ノ他ノ補助
ノ政策ヲ、茲ニ樹立シナケレバ駄目デハナ
イカ、貸シタ金ノ以外ニ、二千圓金ヲヤル

カラ支那ニ行ケ、三千圓ナルカラ南洋ニ行ケ、事業ハ斯ウ言ツタモノヲヤレ、サウシテ事業ノ將來性ハ、斯ウノデアルト云フヤウナ、具體的ナ指導ヲ致シマシタ時ニ、初メテ轉業者ト云フモノハ、勇氣百倍シテ進ンデ轉業スルと思フデアリマス、唯自力更生ノミデハ到底行カナイ、無論自力更生ノ日蓮主義ト云フヤウナモノ、必要デアリマセウケレドモ、私ハ此ノ場合ニ於テ、他力本願ノ親鸞主義ト申シマス、所謂親鸞ノ情ノ手ガ伸ビナケレバ、十分ナル轉業ハ出來ナイノデハナイカト、斯様ニ存ズルノデアリマス、本人トシテハ無論自力本願ノ意氣ニ燃エナケレバナラスケレドモ、他面政府トシテハ他力本願ノ補助政策ヲ考ヘナケレバ、唯金庫其ノ他二ツノ施設ノミニ依頼シタバカリデハ、到底此ノ目的ハ達シ得ラレナイと思フデアリマス、之ニ對シテハ商工省トシテモ、相當ナ御覺悟ガアルコトト思フデアリマス、遠慮ナク御氣持ノアル點ヲ、御發表願ヒタイと思フデアリマス

ク分リマシタ、私ハ以下失業問題ニ、極メテ密接ナ關聯ヲ持ツテ居リマス、商工省關係、農林省關係ノ配給機構問題ニ付テ、御伺ヒシタイと思フデアリマス、ソレゾレ御答辯ヲ願ヒタイと思フデアリマス、第一、生活必需品配給機構ノ整備ニ付デアリマスガ、生活必需品ノ圓滑ナル配給ハ、戰時下國民生活安定ノ上ニ、重要ナル方策デアリマス、仍テ政府ハ其ノ目的達成ノ爲ニ之ヲ商業組合ニ一元化シテ、既設商業組合ノ改組整備ノ方針ヲ御立テニナツテ、去年十一月二十二日デアツタと思ヒマス、生活必需品配給機構整備通牒ヲ、各縣ニ御出シニナツタノデアリマスガ、一體其ノ結果ハドウナツタノデアリマス、既ニ改組シタ縣ハ何處々デアリマス、尙ホ其ノ改組ノ方式等ハ、ドウ云フ工合ニナツテ居ルノデアリマス、又今日マデ其ノ改組ノ方針ヲ報告モシナイ縣ガアルノデハナイカ、アツタナラバ其ノ縣ノ數ヲ御知ラセ願ヒタイと思ヒマス

構デアリマス、府縣モ冷淡デアリマス、一體商工省ノ指導監督モ足リナイト、私ハ思フノデアリマス、苟クモ生活必需品ノ此ノ問題ニ付テ、斯様ニ冷淡デアツタナラバ、是ハ洵ニ宜クナイコトデアルト思ヒマス、現在重要ナル生活必需品ノ配給ハ、極メテ不圓滑デアリマス、ソレハ何處ニ原因ガアルカト申シマス、物ガアツテモ偏在シテ居ルト云フヤウナ事實モアリマス、或ハ組合ガ餘リニモ複雑デアツテ、階段ガ多クテ秩序ガナイト云フヤウナ點ニモ、原因ガアルノデアリマス、仍テ之ヲ單純化シテ、系統的ニ集荷配給ヲシナケレバナラス存ジマス、ソコデ商工省モ農林省モ、此ノ威令ガ行ハレヌト云フコトハ、洵ニ遺憾デアリマス、此ノ革新期ニ際シマシテ、商工省ハ其ノ新機構ヲ示シナガラ、一方デハ地方業者ノ或ハ商業組合等ニ對シテ、自主的處置ニ俟ツト云ツタヤウナ、消極的ナ態度ヲ執ツテ居ラレルヤウニ、私御伺ヒスルノデアリマス、斯ウ云ツタヤウナ態度、即チ本省ガ煮エ切ラス、隨テ府縣モ微温的ニナツテ來ル、斯様ニ存ジマス、一體商工省ハドウ云フ風ニ此ノ點ヲ御考ヘニナツテ居ルノデアリマス、此ノ點御答ヘヲ願ヒタイと思フデアリマス

業態ニ依リマシテ、相當慎重ニ實行ニ移サナケレバイカヌト考ヘテ居リマス、ソコデ無論私共ト致シマシテハ、一日モ速カニ適當ニ整備セラレコトヲ希望シテ居リマス、ケレドモ、到底二月、三月ノ間ニ決定ガ出來ルモノトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、方法ト致シマシテハ、吾々始終本省ニ居リマシテ、各組合ノ實情ヲ到底一々仔細ニ知ル譯ニモ參リマセヌノデ、是ハ主トシテ地方廳ニ依頼致シマシテ、地方廳ガ中心トナツテ、各組合ト連絡ヲ取ツテ動イテ貰フト云フ行キ方ヲシテ居ルノデアリマス、決シテ等閑ニ附シテ居ル譯デモナク、又消極的ナ態度ヲ執ツテ居ル譯デモゴザイマセヌノデ、此ノ點御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○伊東委員 然ラバ此ノ機構組織ニ付テ、本省ノ御方針ヲ承ツテ置キタイと思フノデアリマスガ、先ヅ此ノ最終配給部面ニ於キマスル組織ハ、地區商業組合ガ最モ適當デアルト云フコトハ、商工省ノ方針ニモ示シテアル通りデアリマス、ソレヲ實行スルコトニ依ツテ、最終配給部面ハ滑カニ行クト考ヘマス、即チ行政地區ナリ、或ハ經濟地區ニ依ツテ、綜合的ノ地區商業組合ト云フモノデナケレバナラス、業種別商業組合ハ、大都會デハ宜イカモ知レマセスケレドモ、萬屋式ノ小都市又ハ地方町村ノ商店デハ出資倒レニナル、配給モ不利不便デアアルノデアリマス、町村ハ勿論ノコト、私共ノ考ヘデハ、人口十萬以下位ノ市ニ於テハ、業種別商業組合ト云フモノヲ解散サセテ、サウシテ地區商業組合ニ改メタルト云フコトガ一番宜シイ、此ノ好個ノ模範トシテハ、福島縣外數縣ガアルノデアリマス、福島縣ノ如キハ四市ハ勿論、全部ノ町村ガ既ニ綜合的

○堀政府委員 先程モ一寸申上ゲマシタ工場ヲ滿洲國ニ移駐致シマス場合ニ於キマシテ、政府ト致シマシテ渡航費トカ、機械設備ノ移轉等ノ補助ヲ致シテ居リマス、又貿易業者ノ職業指導所ノ設置ニ付キマシテ、其ノ幾分ヲ補助シテ居ルト云フヤウナ例モゴザイマス、今後業種トシテ北或ハ南ニ向ツテ移轉サセルト云フコトニ付キマシテハ、計畫ガ立チマシタ場合ニハ、政府ト致シマシテモ出來ル限リノ考慮ヲ致シタイト考ヘマス

○伊東委員 中小商工業者對策ト致シマス轉業問題ニ付テハ、大體御説明ヲ聽イテ能ク分リマシタ、私ハ以下失業問題ニ、極メテ密接ナ關聯ヲ持ツテ居リマス、商工省關係、農林省關係ノ配給機構問題ニ付テ、御伺ヒシタイと思フデアリマス、ソレゾレ御答辯ヲ願ヒタイと思フデアリマス、第一、生活必需品配給機構ノ整備ニ付デアリマスガ、生活必需品ノ圓滑ナル配給ハ、戰時下國民生活安定ノ上ニ、重要ナル方策デアリマス、仍テ政府ハ其ノ目的達成ノ爲ニ之ヲ商業組合ニ一元化シテ、既設商業組合ノ改組整備ノ方針ヲ御立テニナツテ、去年十一月二十二日デアツタと思ヒマス、生活必需品配給機構整備通牒ヲ、各縣ニ御出シニナツタノデアリマスガ、一體其ノ結果ハドウナツタノデアリマス、既ニ改組シタ縣ハ何處々デアリマス、尙ホ其ノ改組ノ方式等ハ、ドウ云フ工合ニナツテ居ルノデアリマス、又今日マデ其ノ改組ノ方針ヲ報告モシナイ縣ガアルノデハナイカ、アツタナラバ其ノ縣ノ數ヲ御知ラセ願ヒタイと思ヒマス

○堀政府委員 今具體的ニ何處々ノ縣ト云フコトハ、手許ニ資料ヲ持合ハセマセスガ、大體約半數ノ府縣カラ回答ガ參ツテ居リマス、其ノ整備統合ノ方向ハ、大體アノ整備要綱ニ書イテアリマシヤウナコトニ相成ツテ居ルヤウニ、私ハ考ヘテ居リマス

○伊東委員 アノ御通牒ニナツタ整備要綱ハ大體十一月二十二日デ、翌月ノ二十日マデニ改組方針ヲ決定シテ報告スルヤウニ、命令ガシテアルト聞イテ居リマス、所デ只今ノ御話デハ、マダ半數モ報告ガナイ、アノ通牒ヲ出サレテカラ三箇月ニナル今日、此ノ重要ナル案件、是ハ少クトモ失業問題ト轉業問題ト、非常ニ關聯ヲ持ツテ居ル機構デアリマス、府縣モ冷淡デアリマス、一體商工省ノ指導監督モ足リナイト、私ハ思フノデアリマス、苟クモ生活必需品ノ此ノ問題ニ付テ、斯様ニ冷淡デアツタナラバ、是ハ洵ニ宜クナイコトデアルト思ヒマス、現在重要ナル生活必需品ノ配給ハ、極メテ不圓滑デアリマス、ソレハ何處ニ原因ガアルカト申シマス、物ガアツテモ偏在シテ居ルト云フヤウナ事實モアリマス、或ハ組合ガ餘リニモ複雑デアツテ、階段ガ多クテ秩序ガナイト云フヤウナ點ニモ、原因ガアルノデアリマス、仍テ之ヲ單純化シテ、系統的ニ集荷配給ヲシナケレバナラス存ジマス、ソコデ商工省モ農林省モ、此ノ威令ガ行ハレヌト云フコトハ、洵ニ遺憾デアリマス、此ノ革新期ニ際シマシテ、商工省ハ其ノ新機構ヲ示シナガラ、一方デハ地方業者ノ或ハ商業組合等ニ對シテ、自主的處置ニ俟ツト云ツタヤウナ、消極的ナ態度ヲ執ツテ居ラレルヤウニ、私御伺ヒスルノデアリマス、斯ウ云ツタヤウナ態度、即チ本省ガ煮エ切ラス、隨テ府縣モ微温的ニナツテ來ル、斯様ニ存ジマス、一體商工省ハドウ云フ風ニ此ノ點ヲ御考ヘニナツテ居ルノデアリマス、此ノ點御答ヘヲ願ヒタイと思フデアリマス

○堀政府委員 配給機構整備ニ關スル通牒ハ、御話ノ通り昨年十一月二十二日附ヲ以テ、次官命令ノ通牒ガ出テ居リマス、唯是ハ細カイコトデゴザイマス、御話ノヤウニイツ何日マデニ其ノ返事ヲ寄越セト云フヤウナコトハ、此ノ通牒ニハ書イテゴザイマセヌ、ノミナラス私共ト致シマシテハ、此ノ配給機構ノ整備ト云フモノハ、爾ク簡單ナモノデハゴザイマセヌノデ、各業種ニ依リ、

ノ地區商業組合ニ改ムツタ、ソコデ此ノ最終ノ配給部面ト云フモノガ、非常ニ旨ク行ク、是ハ失業救済ノ方法トシテモ、一ツノ考ヘ方ニナルノデアリマス、尙ホ又府縣ニ依ルト、地區商業組合ト云フモノノ有利性ヲ認識シナイ本省ニ於テスラ或ル役人ノ如キハ、業種別デナケレバナラヌヤウナ主張ヲシテ居ル者サヘアルノデアリマスガ、是ハ私ハ内輪ニ於テモ甚ダ統一ヲ缺イテ居ルヤウニ思ツテ居リマス、私ハ是ハセメテ市ガ出來ナイデモ、最終配給部面ハ町村ダケデモ、此ノ地區商業組合一式ニ改組シテ、之ヲ單純化スルコトガ一番宜シイノデハナイカ、私ハ配給統制ハ、先ヅ組合ノ制統カラ實踐ニ移ラナケレバナラス、現在ノヤウニ實ニ多角性ナル、複雑ナル色々ナ組合ガアルコトハ、殊ニ消費者ト直接ノ最終ノ配給部面ノ如キハ、良クナイコトデアリマス、上ノ方ハ別デアリマスガ、此ノ最終配給部面ニ對スル、商工當局ノ御考ヘヲ御伺ヒ致シマス

○堀政府委員 只今御話ノ通り、最終部面ニ於ケル配給機構ガ複雑化シテ居ルト云フコトハ、色々物ノ流レヲ見シテモ、或ハ又消費者ノ方カラ見シテモ、不便不都合ナ場合ガ多イノデアリマス、ソコデ之ヲ適當ニ整備スル必要ヲ感ズルノデアリマスガ、其ノ整備ノ方法トシテハ、是ハ物資ニ依リ、又土地ニ依リマシテ一率ニハ參ラヌト思フノデアリマス、從來ノ通り一人ノ業者ガ多數ノ組合ニ入ルト云フコトハ、固ヨリ幾多ノ弊ヲ生ジマスノデ、之ヲ是正スル必要ガアルノデアリマスガ、是ガ爲ニハ或ハ包括的ニ商業組合ヲ設ケ、或ハ又御話ノ通り地區商業組合ヲ設ケルト云フヤウナコトガ

宜シイと思ヒマスガ、是ハ町村ハ地區商業組合ノ方ガ宜シイト云フヤウニ、原則ハ一寸立テニクイノデハナイカト、私ハ思フノデアリマス、同じ町村ト申シマシテモ、ヤハリ從來ノ經緯、歴史等カラ見マシテ、業種別商業組合ノ發達シテ居ル場所モアリマセウシ、又相當ナル都市ニ於キマシテ、地區商業組合ノ發達シテ居ル、サウ云フヤウニ業者ガ統一サレテ來テ居ル場所モアリマセウシ、之ヲ只今必ズ町村ノ方ハ地區商業組合ガ宜シイト云フコトデ改組サセルコトハ、如何ナモノデアアルカト思フノデアリマス、要スルニ是ハ其ノ土地々々ノ實情ニ應ジマシテ、決定スル必要ガアルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○伊東委員 其ノ點デアリマス、私ハ是ハ獨リ商業組合ノ方針バカリデハアリマセヌガ、商工省ガ一ツノ型ヲ御考ヘニナツテ、而モ通牒ヲ出スト云フヤウナ場合ニハ、大體確信ヲ以テ進ンデ戴クコトガ必要デアルト思ヒマス、從來ノ習慣ガアルカラ斯ウダトカ云フヤウナ、サウ云フ從來ノ習慣ヲ破ツテ、新シイ形式ニ引直スト云フコトガ、而モ總テノ配給組織ヲ單純化スルト云フヤウナ場合ニハ、少シ無理ガアツテモ左様ナ一ツノ方針ヲ立テラレテ、ソレデ進ンデ戴クト云フコトガ、特ニ良イト思フノデアリマス、是ハ町村バカリデハナイ、十萬以下位ノ都市ハ、實際問題トシテ地區商業組合ノ方式ノ方ガ、事實良イノデアリマスカラ、私ハ唯業者ノ一ツノ舊慣ニ囚ハレズシテ、左様ナ場合ニ於テハ、一ツノ方針ヲ御進ミアラシコトヲ希望致シマス

尙ホ又續イテ御尋ネ致シタイコトハ、府縣ノ商業組合聯合會ノ組織ノ問題デアリマ

スガ、是ハ部長カラデモ宜シイノデアリマスガ、實際問題トシテハ、商業組合課長ガオイデニナツテ居ルヤウデアリマスシ、商業組合課長自ラ仕事ヲサレルノデアリマスカラ、課長カラ本當ノ實感ヲ御答辯下サルナラバ、尙ホ幸ダと思ヒマス、各府縣トモ商業組合聯合會ヲ一本ニ統制シタナラバドウカ、是ハ適當デアツテ、斯ウ云フヤウナ方針ヲ堅持サレルコトガ宜イト考ヘルノデアリマス、ソコデ商工省ハ先ヅ生活必需品、商業組合聯合會ヲ米穀、纖維、家庭用品、燃料等多角性ノ聯合會ノ方式ヲ、御示シニナツテ居ルノデアリマス、府縣デハ此ノ外ニマダ多數ノ聯合會ガアリマス、尙ホ又府縣ノ一地域ニシテ商業組合ガ多數アリマシテ、茲ニ配給統制ニ非常ナ支障ガアルノデアリマス、下部組織デサヘ地區組合ニ統合スルナラバ、自然ニ縣聯ト云フモノハ、商工省ノ指導一ツデ統制サレルベキデアルト考ヘル、府縣デハ一本ニシタイト考ヘテ居ル府縣ガ澤山アリマスガ、斯ウ云フ多角性ノ政府ノ方針ヲ示サレテ居リマスカラ、組合ノ統制統制ト云フコトハ不可能ニナリ、是デハ小賣商ノ維持育成ト云フヤウナコトモ出來ナイ、商工大臣ハ盛ニ失業救済對策トシテ、商工業者ノ維持育成ト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、斯様ナ事實問題カラ行カケレバ、唯机上ノ空論ダケデハ、ソレガ出來得ナイと思フノデアリマスガ、若シ已ムヲ得スト致シマスルナラバ、現在ノ各府縣ニハ少クトモ十以上ノ聯合會ガアルノデアリマスカラ、之ヲ米穀ハ一番大切ナモノデアルカラ、米穀穀ハ一聯合會ヲ作ラセ、纖維モ生活必需品ノ重要ナモノデアルカラ、是モ一ツ作ラセ、其ノ他ノ纖維ト米ニ關係

ノナイ總テノ生活必需品並ニ一般ノ商品ヲバ、地區組合ニ全部統制シテ、聯合會ヲ三本建ニスルト云フ程度ノ整理統制ヲサレタラドウカト思ヒマスガ、先程ノ部長ノ御話デハサウ無理ヲシテハイケナイト云フコトデアリマスガ、是ハ無理デハナイ、寧ろ業者ハ非常ニソレヲ喜ンデ居ル、商業組合ノ如キハ縣ニ一ツアレバ宜イ、産業組合ガ一ツアルヤウニ、ヤハリ産業組合ノヤウニ統制統制スル、工業組合モ何々工業組合聯合會ト云フモノガ、夥シイ數デアリマスガ、商業組合ニ於テモ澤山ノモノヲ出來ルナラバ、一本ガ宜シイガ、セメテ三本位ニ統制統制サレルコトガ、實際業者カラ言ツテモ、又指導監督ノ立場カラモ、一番宜イノデハナイカト存ズルノデアリマスガ、此ノ點如何デアリマスカ、併シ先程部長ハ、ドウモ無理ヲシナイト云フヤウナ御話デアリマスガ、幸ニシテ商業組合課長ガオイデニナツテ居リマスカラ、遠慮ナク一ツ御所見ヲ承レバ幸デアリマス

○堀政府委員 先程ノ御質問ノ内、商工省ハ折角或ル形ヲ決メテ通牒ヲ發シテ居ル、斯様ニ一ツノ方針ヲ定メテ居ル以上、多少無理ガアツテモソレニ向ツテ進ンダラドウカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、實ハ平時デゴザイマスレバ、吾々ト致シマシテモ是非サウ致シタイ所ナンデゴザイマスルガ、現狀ニ於キマシテハ、ドチラガ宜イカト云フ程度ノ問題デアル場合ハ、餘リ無理ヲシタクナイ、平地ニ波瀾ヲ起スコトハ、色色行政上面白クナイト考ヘマシテ、實ハ比較的無理ヲシナイヤウニト云フ方針ヲ進ンデ居ル譯デアリマス、ソレカラ後ノ御尋ネノ商業組合聯合會ヲドウスレバ宜イカト云

フ點ニ付キマシテハ、説明員ノ方カラ御説
明申上ゲサセタイと思ヒマス

○岡田説明員 御話ノ聯合會ノコトデアリ
マスガ、例ヘバ福島縣ノ如キハ、一ツノ商
業組合聯合會ニ、全部集マツテ居リマスガ、
是ハ縣ニ依ツテ色々ト實情ヲ異ニシテ居リ
マス、纖維製品、食糧品、燃料品、家庭用
雜貨等、色々アル所モアリマスガ、大體五
ツカ六ツニ纏メタラ宜カラウカト思ヒマス
ガ、縣ニ依ツテ事情ヲ異ニシテ居リマスカ
ラ、其ノ關係ニ依ルコトト思ヒマス

○伊東委員 押問答ニナルカラ省略致シマ
スガ、今御話ノヤウナ縣聯合會三ツカ四ツ出
來タ場合、例ヘバ米穀聯合會ト食糧品ノ聯
合會ノ關係、纖維品ノ聯合會ト日用品ノ聯
合會ノ關係ノ取扱商品別ノ問題デアリマス
ガ、商品ノ境界ガ洵ニ不明デアリマス、何
レノ聯合會ニ所屬スベキカト云フ雜貨ナリ
食糧品ガ相當アリマスノデ、商工省ハ此ノ
場合ニ品種別ニ決定指示スル必要ガアル、
是ハ失業問題ト關聯スルノデ、是非ハツキ
リシテ戴キタイノデアリマス、今例ヲ舉ゲ
テ御伺ヒ申シマス、雜貨ハ多クハ纖維製
品又ハ纖維製品ノ混造デアリマス、故ニ纖
維製品ハ衣服ニ所屬スルモノノミニ制限統
制シ、其ノ他ノモノハ纖維ガ入ツテ居ツテ
モ一切雜貨トシテ、日用品又ハ家庭用品ノ
聯合會ニ取扱ハセル、斯ウ云フヤウニ方針
ヲハツキリサセテ戴カナイト、非常ニ地方
業者ハ困ルノデアリマス、尙ホ食糧品聯合
會ニ致シマシテモ、例ヘバ豆腐ハ其ノ原料
ノ大豆ガ問題ニナリマス、米穀雜穀商業組
合聯合會ト云フモノヲ作ルト、大豆ハ雜穀
ニ入ルノデアリマスアレドモ、是ハヤハリ
自然的ニ食糧品聯合會ノ方ニ取扱ハセルヤ

ウニスルト云フヤウナ工合ニ、總デノモノ
ヲ物資別ニ、一日モ早ク指示シテ戴クコト
ガ、府縣ニ於テ聯合會ヲ結成スル上ニ都合ガ
好ク、又結成後ト雖モ、斯ウ云フ問題ハ小
サナ問題デアリマスアレドモ、中小業者
ニ取ツテハ直接利害關係ガアリ、延テハ生
活問題ニモ關係シ、營業ノ持續ノ上ニ影響
スルト思フノデアリマス、ソコデ此ノ指示
ヲ是非シテ戴キタイと思フノデアリマスガ、
一體ドウ云フ御意見デアリマスカ

○堀政府委員 洵ニ御尤モニ存ジマス、取
扱商品ノ不明確ナ點ハ、出來ルダケ明確ナ
ラシメル方法ヲ取リタイと思ヒマス、此ノ
コトハ業者トシテモ又大キク考ヘマシテ、
重要物資ニ付キマシテハ、物資ノ配給ト云
フ點カラ見マシテモ、重大ナ問題デアルト
考ヘマス、十分考慮シタイト考ヘマス

○伊東委員 モウ一、二點伺ヒマス、生活
必需品ハ農林省所屬ト、商工省所屬ノ兩方
ニ跨ガツテ居リマスガ、此ノ連絡ガウマク
行ツテ居ナイ、ソコデ各組合デハ配給上ニ
非常ナ支障ヲ來シテ居ルノデアリマス、又
商業組合ノ多數ノモノガ、農林省ノ下ニ行
ツタ爲ニ、失業者ヲ農林省ハウント製造ス
ルヤウナ傾向ガ、組織機構ノ上ニ於テアル
ノデアリマス、是ハ見逃スコトノ出來ナイ
大キナ事實デアリマス、農林省ハ少クとも
其ノ實施トモ云フベキ産業組合ニ重點ヲ置
クコト、是ハ已ムヲ得ナイコトダと思ツテ
居リマス、同ジ農林省ニ所屬スルヤウニナ
ツタ米穀、或ハ木炭其ノ他ノ生活必需品
商業組合ニ致シマシテモ、ドウモ繼子扱ヒ
ニサレル嫌ヒガアルト云フコトヲ、業者ハ
盛シニ言ツテ居ルノデアリマス、近ク食糧
省ト云フヤウナモノガ實現致シマスルナラ

バ、斯ウ云ツタヤウナ弊害モ、除カレルコ
トト思ヒマスアレドモ、現在ノ所デハ農林
省ト商工省ガ、旨ク連絡ヲ取ツテ戴クト云
フヤウナコトガ、非常ニ必要デアリマス、
全然商業組合ガ農林省ニ入ツテ所管外トナ
リマシテモ、指導監督ハヤハリ商工省ガヤ
ツテ居ルト云フヤウナ工合デ、ドウモソコ
ニシツクリ行カナイ點ガアルノデアリマス、
ソコデ農村ニ配給スルガ如キ雜貨類ハ、只
今産業組合ガ直配ヲ致シテ居リマスルケレ
ドモ、斯ウ云ツタモノハ商業組合一本デ配
給スルト云フコトニ致シマスルト、商業組
合ノ維持育成ノ上ニ、非常ナル效果ガアリ
マスノデ、是ハ失業問題ト相當關係ガアル
ノデアリマス、尙ホ生活必需品ノ配給一元
化ノ問題デアリマスルガ、今ノヤウナ多元
的ナ配給デハイカナイ、例ヘテ申シマスル
ナラバ、地下足袋デアリマスルガ、地下足
袋ハ農林用ハ産業組合、木炭用ハ林業組合、
漁業用ハ漁業組合、職工用ハ工業組合、一
般用ハ商業組合ガ配給スルト云フ風ニ、六
本建ニモ五本建ニモナツテ居リマスルノデ、
茲ニ配給ヲ受ケル側カラ非常ナ不平不滿ガ
起ツテ來マス、配給スル業者ノ方カラ言ヒ
マシテモ、此處ニ不滿ガアルノデアリマス
ルガ、以上申上ゲマシタ諸點ニ付テモ、御
所見ヲ承リタイノデアリマス

○堀政府委員 農林省ト商工省トノ所管ノ
問題ニ付キマシテハ、昨年以來協議ヲ致シ
マシタ結果、今日ノ如ク決定致シマシテ、
食糧品關係等相當ノ商業組合所管ガ、農林
省ニ移リマシタノデゴザイマス、モトノ
農林省ト商工省ト協議ヲ致シマシタ際ニモ、
商業者其ノ他ノ生産者、消費者團體トノ職
域ニ、急激ナ變化ヲ來サナイト云フコトガ、

兩省ノ話合ヒノ根本トナツテ居リマシテ、
此ノ方針ヲ原則トシテ、今後トモ其ノ原則
ニ從ツテ行政ガ行ハレルコトト信ジテ居リ
マス、尙ホ實際問題ト致シマシテハ、商工
省カラ係官モ可ナリ農林省ニ轉任シテ參
テ居リマシテ、實質上十分ナ連絡ヲ取リマ
シテ、兩省ノ間ニ齟齬ノナイヤウニ致シテ
參リタイト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ當
業者ニ對スル措置ト云フヤウナコトモ、決
シテ御心配ニナルコトハナカラウト、私ハ
信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ配給機
構ガ複雜デアルト云フコトハ、洵ニ御説ノ
通りノ複雜ナ例ガゴザイマスルガ、是ハヤ
ハリ出來ルダケ一元化スルヤウニ致シタイ
ト考ヘテ居リマス

○伊東委員 モウ一ツ、酒ト砂糖ノ配給ノ
コトニ付テ簡單ニ御尋ネ致シマスルガ、目
下小賣業者中デ米ト、木炭ト、酒ト、砂糖
ノ關係業者ニ、一番失業者ガ多イノデア
リマス、此ノ中デモ米ノ如キハ、モウ大分失
業者ガアリマス、砂糖デモ配給ガ少クナツ
タ爲ニ、菓子屋ガ失業シテ居ル、酒ガ半分
ニ減サレタ爲ニ、其ノ關係方面ガ夥シイ
失業者ヲ出シテ居ルコトハ事實デアリマス、
併シハ一ツノ國策實行ノ上ニ於テ、已ム
ヲ得ヌコトデアラウト思ヒマスルガ、唯此
ノ配給ノ問題デアリマス、一番能ク配給ガ
出來ナケレバナリナイ酒ガ、一番配給ガ不
圓滑デアリマス、酒位偏在ノ多イモノハア
リマセス、勞働者ヤラ農村家庭等ニハ、酒
ガ全ク流レナイ、今年ハ農村方面デハ、オ
正月御祝ノ酒ガナカツタト云フヤウナ、實
ニ慘メナ話ガ段々各地ニアルノデアリマス、
酒ハ確實ニ出來ル生産量ガ分ツテ居ルモノ
デアル、米ナドトハ違フノデアル、而モ大藏省

ガ之ヲ所管シテ居ル、此ノ流シ方サヘ旨ク考ヘテ行クナラバ、是コソ完全ニ流レテ行カナケレバナライ、是ガ一番流レナイト云フノハ、洵ニドウモヲカシイノデアリマス、ソコデ今マデノ如ク醸造家ガ直配ヲヤツテ居ルノガイケナイ、左様ニ致シマスナラバ、小サイ商人ハ倒レテシマフト云フコトニナリマスノデ、私共ノ考ヘデハ小賣業者救済ノ立場カラ、醸造家直配ヲ禁止シテ直接小賣商業組合ニ流シテ、免許ヲ持ツテ居ル所ノ小賣商ニ流シテ行クト云フヤウナコトニ致シマスナラバ、是ハ必ズ安全ニ行クト考ヘテ居ルノデアリマス、但シ此ノ場合ニ於テハ、商業組合ニ免許權ヲ大藏省ガ與ヘルコトガ必要デアリマス、然ルニ大藏省ガ商業組合ニ免許權ヲ與ヘルコトヲ、拒マレテ居ル傾向ガアルノデアリマスカラ、斯様ナコトガ寧ロ酒ノ配給ノ圓滑ヲ缺ク一ツノ原因ニナツテ居ル、是ハヤハリ組合ヲ通ジテヤルト云フヤウナ組織ガ宜イ、現在大藏省ガ持ツテ居ル所ノ、自營的ノ酒ノ組合ガイケナイト云フ位ニ考ヘテ居ルノデアリマス、砂糖ノ配給ニモ不平ガ非常ニ多イノデアリマス、右ハ何レモ私ハ今後米、木炭ノ配給切符制度ト同様ナ方針ヲ執ツテハドウカト考ヘルノデアリマス、尙ホ此ノ場合特ニ御方針ヲ承ツテ置キタイコトハ、將來ノ物資ノ配給方針デアリマスルガ、現在マデハ實績主義ニ依ル配給ヲサレテ居ルノデアリマス、無論ハ卸業者ヲ對象トシテノ實績主義デアリマス、將來ハ私ハ物ノ配給ト云フモノハ、ソナ卸業者ノ實績ヲ對象トスルト云ツタヤウナコトヲ廢シテ、人口主義ヲ行カナケレバ、物ノ圓滑ナル流レハ出來ナイト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、當然私

ハ人口主義ヲ採用スルガ宜イ、サウナツタ時ニハ卸業者ハ困ルノデハナイカト云フヤウナ問題ガアルノデアリマスケレドモ、是ハ卸業者ト又縣ノ小賣商業組合聯合會トノ旨イ提携ニ依レバ、決シテ卸業者ソレ自體ハ心配ハ要ラナイ、物ノ圓滑ナル流レヲ期待スルノニハ、人口主義ガ宜イト思ヒマシガ、其ノ點ドウ云フ工合ニ御考ヘニナリマスカ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○相田政府委員 酒ノ配給ノコトニ付テ、色々示唆ニ當ンダ御質問ガゴザイマシタガ、丁度其ノ方ノ擔當ノ政府委員ガ參ツテ居リマセヌノデ、私カラ十分御説明申上グルコトガ出來ナイノハ遺憾デアリマスガ、只今ノ御趣旨ハ能ク其ノ方面ノ責任者ニ傳ヘマシテ、配給ノ圓滑化ニ付キマシテ一層ノ努力ヲ圖ルヤウニ致シタイト考ヘマス

○堀政府委員 實績主義ノ問題ノ御話ヲ伺ヒマシタガ、是ハ商工省關係ノ方カラ申シマスレバ、配給機構ノ整備ヲ致シマス場合ニ於テ、組合ヲ作ルト云フヤウナ時ニ、組合ノ地區ト云フモノガ消費者ノ關係カラ見テモ、適當デアルコトヲ必要トスルト云フコトハ考ヘテ居ルノデアリマス、出來マシタ組合ガ、町内會デアリマストカ、部落會ト云フヤウナモノト、能ク連絡ヲ執ルヤウニト云フ意味ノコトハ、既ニ商工省ノ通牒ニモ謳ツテゴザイマスガ、是ハ單ニ末端ノ組合バカリノ問題デナクテ、卸段階ニ於キマス機構ニ於キマシテモ、同様ノ問題ガアルノデアリマス、隨ヒマシテ單純ニ實績主義デケデ、物ノ配給ヲスルト云フコトハ、是ハ不適當デアリマシテ、消費者ノ關係等ヲ能ク計算ノ中ニ入レマシテ、サウシテ物ヲ流スト云フコトハ必要デアラウト考ヘ

マス

○伊東委員 時間ガ非常ニ過ギマシテ恐縮デアリマスガ、モウ一點ダケ簡單ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、商業組合或ハ工業組合ノ全國的ノ聯合會ノ問題デアリマスガ、工業組合ハ特ニ此ノ全國聯合會ガ多イヤウデアリマス、商業組合モ亦相當ノ數ニ上ツテ居リマシテ、兩方ヲ合シマスルト二十以上ニ達スルノデハナイカ、斯ウ云フ工合ニ私ハ見テ居リマス、配給制度ノ單純化ト云フコトハ、統制經濟ノ能率増進ノ上ニ於テモ必要デアリマス、故ニ此ノ配給ノ圓滑化ヲ圖ル上ニ於テハ、全國的ノ元賣機關ト云フモノガ中央ニアリマスカラ、ソレカラ府縣ノ小賣商業組合聯合會ニ流シテ、サウシテ各地ノ小賣商業組合ニ流シテ行クト云フ此ノ三段式ガ極メテ合理的ダト私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ問題ハ、中央ノ卸屋ト云フモノハ元賣機關ニ統一シテシマフ、ソレカラ地方ノ卸屋ト云フモノハ、縣ノ小賣商業組合聯合會ニ吸收統制スル、是ハ雙方ニ話合ヒマスナラバ、調節ノ出來ルコトデアリマス、之ヲ商工省ガヤトラニ業種別ニ方針ヲ立テテ居リマスカラ、ドウモ旨ク行カナイ、總テ本省ノ方ノ命令ガ縱ニハ旨ク行キマスケレドモ、現在ノ商工省ノヤリ方モ、農林省ノヤリ方モ、横ノ統制ト云フモノトハ全ク執レテ居ラナイノデアリマシテ、ソコニ配給上ニ支障ガ起ルト云フヤウナコトニナルノデアリマス、ソコデ私ハ、全國的ノ小賣商業組合聯合會ト云フモノハ、モウ廢止解散スルコトガ宜イノダ、斯ウ云フモノガアルコトガ配給上ノ邪魔ニナル、斯ウ云フ工合ニ考ヘマス、ソコデ、廢止解散ト云ヒマシテモ、無理ガアリマスナラバ、是ハ工業

組合中央會、若クハ商業組合中央會ニ併合吸收シテシマツテ、單ナル指導監督ノ擔任ヲスルト云フコトガ、一番宜イノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、殊ニ此ノ元賣機關ダケガ經濟行為ヲヤル、現在アルモノモ全國ノ商業組合聯合會デ、經濟行為ヲヤラナイモノガ多イノデアリマシテ、又ヤラセナイコトガ宜イノデハナイカト考ヘラレルノデアリマスガ、一體政府ハ此ノ各業態別ノ聯合會ト云フモノヲ、將來存續ナサル見込デアリマスカラ、是ハ相當大キナ問題デアリマスカラ、御即答ガ出來ヌカモ知レマセヌケレドモ、斯ウ云ツタヤウナ當面セル大キナ問題ヲ、荏苒放任スルコトニ依ツテ、私ハ此ノ配給ト云フモノガ、旨ク行カナイト思フノデアリマス、ダカラハハ大膽ニ斷行サレルナラバ出來得ナイコトデハナイノデアリマス、之ヲ色々ナル事情ノ下ニ斷行ガ出來ナイ所ニ、一番迷惑スルノハ一番最下部ノ小賣商業人ダトカ、或ハ消費者面デアリマス、此ノ方針ニ付テハツキリシテ御答ヘテ、一ツ遠慮ナク吐露シテ戴キタイト思フノデアリマス

○堀政府委員 主トシテ商業關係ノ御質問ト考ヘマシテ御答ヘ申上ゲマス、先程御話ノヤウニ、中間ノ卸賣機構ト云フモノ、卸賣商ト云フモノヲ、一ツハ元賣ノ方ニ、一ツハ府縣ノ小賣業者ノ方ニ吸收サセタラト云フ御話デゴザイマスガ、是ハマア意見ノ相違カモ知レマセヌガ、私共ト致シマシテハ、ヤハリ中間機構ト云フモノガナケレバ、物ガ圓滑ニ流レナイノデヤナカラウカト考ヘマシテ、ヤハリ卸賣機構ノ存續ヲ前提トシテ考ヘテ參ツタ譯デゴザイマス、ソレカラ、全國的ノ小賣商業組合聯合會ト云フモ

組合中央會、若クハ商業組合中央會ニ併合

組合中央會、若クハ商業組合中央會ニ併合

組合中央會、若クハ商業組合中央會ニ併合

組合中央會、若クハ商業組合中央會ニ併合

組合中央會、若クハ商業組合中央會ニ併合

ノハ、不必要デヤナイカト云フ御質問ノ點
デゴザイマスガ、是ハヤハリ全國的ニ統制
ヲ執リマスルコトガ、殊ニ物資ノ配給ト云
フヤウナ點カラ考ヘマシテ、相當ニ意義ノ
アルコトト考ヘマスルノデ、只今ノ所マダ
之ヲ廢メサセルト云フマデニ考ヘハ至ツテ
居リマセヌ、併シ十分此ノ問題ハ研究ヲシ
テ見タイト考ヘテ居リマス

○伊東委員 只今ノ中小商工業者ニ對スル
組織ニ對シテハ、振興部長ノ御意見ハ私ハ
贊成ガ出來ナイノデアリマス、ドウモサウ
云ツタヤウナ現狀維持的ノ意見デハ、ドウ
スルコトモ出來ナイ所マデ追詰メラレテ居
リマス、アナタノ御意見ハ商工大臣ノ御意
見ト一致シテ居リマス、商工大臣ノ御意見
トシテハ、ドウモ最近消極的ナ現狀維持論
ノミヲ吐カレテ居リマスルノデ、私ハ此ノ
點ニ付テハ、別ナ方面カラ商工大臣ニ御尋
ネシタイコトモ二、三アルノデアリマスル
カラ、其ノ時更ニ御尋ネスルコトニ致シマ
ス、非常ニ長イ時間ヲ取リマシテ、又丁寧
ニ御答辯願ツタコトヲ感謝致シマス、委員
長ニ御願ヒ致シテ置キマスガ、商工大臣ニ
二、三御尋ネ致シタイコトガアリマスルノ
デ、適當ノ時機ニ御出席ヲ御願ヒ致シマシ
テ、本日ハ私ノ質問ハ是デ一應中止スルコ
トニ致シマス

○菊池委員長 何レ商工大臣ニオイデヲ願
ツテ、アナタノ質疑ヲ御願ヒシタイト思ヒ
マス、明日ハ午前十時カラ開會致シマスカ
ラドウゾ御奮發シテ御出席ヲ願ヒマス、本
日ハ是デ散會致シマス

午後零時五十分散會

昭和十六年二月十八日印刷

昭和十六年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局